

HIGH SCHOOL PROJECT

ハイスクールプロジェクト



多様な進路を探ろう！～定時制・通信制編～

目次

はじめに	2
定時制・通信制高校について考えているみなさんへ～自分の心を深くのぞいてみよう～	3
子どもを信じて待つ大切さ～子どもの良き理解者であり続けるために～	4
「不登校新聞」から学ぶ親の心得～子どもが自分に合った進路選択をするために～	6
進学先選びのアルゴリズム	10
見学で聞いてみたいチェックポイント～学校選びを失敗しないために～	12
高等学校卒業程度認定試験	14
学校紹介の見方	16
地図	17
【定時制高校】	
香川県立小豆島中央高等学校	18
香川県立三木高等学校	20
香川県立高松高等学校	22
香川県立高松工芸高等学校	24
香川県立高松商業高等学校(商業科)	26
香川県立丸亀高等学校	28
香川県立多度津高等学校	30
香川県立観音寺第一高等学校	32
【県内通信制高校】	
香川県立高松高等学校	34
香川県立丸亀高等学校	36
私立 穴吹学園高等学校	38
私立 村上学園高等学校	40
私立 RITA学園高等学校	42
【県外通信制高校】	
私立 N高等学校/S高等学校	44
私立 NHK学園高等学校	46
私立 クーク記念国際高等学校広島キャンパス	48
私立 未来高等学校	50
私立 ルネサンス大阪高等学校	52
【サポート校】	
私立 未来高等学校 高松国際高等学院(通信制本校に記載)	50
私立 松陰高等学校 高松校・丸亀校	54
私立 鹿島朝日高等学校 学習センター高松キャンパス	56
私立 鹿島朝日高等学校 匠の学舎【不登校・ひきこもり支援コース】	58
私立 鹿島朝日高等学校 匠の学舎【職人育成コース】	60
私立 鹿島朝日高等学校・高松中央高等学校 トライ式高等学院 中新町キャンパス	62
私立 クラーク記念国際高等学校 希望高等学園 香川校	64
私立 さくら国際高等学校 香川キャンパス	66
私立 屋久島おおぞら高等学校 KTCおおぞら高等学院 高松キャンパス	68
【職業訓練校】	
香川県立高等技術学校 高松校・丸亀校	70
【不登校経験を配慮した全日制】	
私立 英明高等学校	72
私立 吉備高原学園高等学校	74
定時制を卒業して、叶えた私の夢	76
定時制を卒業して、現在の僕が在る	77
常に感じた母からの重圧 高認を受けた私の「不登校その後」	78
ADHDの子どもを育てて～通信制高校を経て自立までの奮闘記～	80
編集後記	82

はじめに

香川大学は、地域に根ざす大学として地域社会への貢献を目指しています。三木町においては子育てに関する様々な課題に対する支援を行う「健やかあすなろプロジェクト」を町の補助事業として実施しています。その「健やかあすなろプロジェクト」の一環で、私が三木町にフリースペースを開設したのは、2019年10月のことです。週に1回、2時間程度の開催で、当初想像していたより、子どもたちの参加は少なく、フリースペースだから大人数が来ても対応できないのだからと納得しつつも、あまり必要とされていないのではないか、やめてしまおうかと何度も思いました。それでも、少ないながら居場所として通ってくれる子がいるのだから、続けてほしいという声もあり、新しくベテランの子ども指導員さんも加わって頂き、なんとか続けてきました。

通ってきてくれている子たちも、中学卒業と同時に、フリースペースも機能的には卒業になります。その問題に直面した時、自分は何もしてあげられていないことに気が付きました。フリースペースに居場所が少しの間できたからと言って、未来に対する不安や悩みは変わらないでしょう。これからの人生に何か役立つものをプレゼントできたらと思いました。それは未来への希望になるようなものです。「自分たちにはたくさんの選択肢があり、どれを選ぶかは自分次第だ」という、未来に対するワクワクした感覚です。

そこで、あすなろプロジェクトの一環で、今年度は新たに「ハイスクールプロジェクト」を企画しました。「ハイスクールプロジェクト」では、全日制高校以外の進路先（通信制・定時制・サポート校・職業訓練校など）を紹介するパンフレットを作成することにしました。パンフレットには多くの学校の情報だけでなく、在校生や卒業生、保護者の声も掲載し、進路を決める時のポイントや親としての心得、高卒認定試験など幅広い情報を掲載しています。子どもには「困っているのは自分だけではないんだ。同じように小学校や中学校に行けなくても、高校に進学したり、夢を叶えている人がいるんだ」と知ってほしいと思いました。また、進学に不安を抱えている保護者の方にも子どもや将来に対する新たな視点と共に、子どもへの適切なかわり方など、参考にしていただけたらと思っています。

このパンフレットをきっかけに、先生方や保護者の方が子どもと前向きな会話ができますよう、子どもが未来を楽しみに思い描くことができますよう切に祈っています。



香川大学医学部 鈴木 裕美

定時制・通信制高校について考えているみなさんへ

～自分の心を深くのぞいてみよう～

伊澤 絵理子（いざわ えりこ）

はじめまして。一般社団法人ももの伊澤絵理子と申します。今回は定時制や通信制高校を検討しているみなさんに向けてお手紙を書く機会をいただきました。初めに少しでも自己紹介をさせてください。私は今、子どもや若者に関わる仕事をしています。居場所づくりや学習支援、子ども食堂などの食支援やショートステイなどの暮らし支援、相談支援などです。私は元々中学校で教員をしていました。中学生から大学生まで10年間、教師になる夢を持っていました。「子どもと関わるのが好き」だったから「教師」を目指しましたが、もっと一人ひとりの子どもたちと向き合いたいと思い、学校の先生を退職しました。ちょうどその頃、身近な家族が学校に行きにくくなり家庭や学校に加え、安心して誰でも利用できる居場所が作りたいたいと思い「まなびやもも」をはじめました。その時、私は「自分らしく子どもと関わる方法」を探していたのだということに気が付きました。私自身、不登校や発達障害、家族の課題など様々な生きづらさを持っていましたし、何でも器用にできるタイプではありません。そこで、少し視野を広げて、自分が生きる道を広げていこうと思いました。自分の心を深くのぞいてみるきっかけになりました。

小学校、中学校時代に大変な思いをしてきた人も多いかもしれません。高校に行くことを考えた時、期待より不安の方が大きい人もいるかもしれません。そんなとき「自分の心を深くのぞいてみる」ことができたらいいなあとと思います。例えば私は「子どもが好き」＝「学校の先生」になると思い込んでいたけれど「なんで子どもと関わるのがしたいんだろう」「どんな子どもとどんな風に関わりたいのだろう」と深掘していくと新しい発見がありました。

もし、今は将来のことを考えるのはしんどいなと感じている人がいたら、「高校に進学しなければならぬ」「将来、就職しなければならぬ」という心配は一度横に置いて、将来自分がしたいことや好きなことを思い描いてみてほしいなと思います。絵を描くことが好き。自然とふれあうことが好き。ゲームやアニメが好き。本が好き。人の話を聴くのが好き。その「好きなこと」をいろんな角度から眺めてみて「なんで好きなんだろう？」「どうして好きになったんだろう？」「どんな瞬間が最高に楽しいんだろう？」などと自分自身に問いかけてみると、本当の気持ちを見つけることができるかもしれません。

定時制や通信制高校など多様な選択肢は増えてきました。自分にあった方法や内容で進路を見つけていけたらいいなあとと思います。高校に行くことも一つの選択肢に過ぎません。もちろん、失敗もあると思います。大人もたくさん失敗します。苦しくて逃げたくなることもあるかもしれません。逃げてもいいと思います。でも、一人だとつらいなと感じることが多いかもしれません。できるだけ家族や先生に加えて、安心して話ができる大人と信頼関係を築いてほしいなと思います。客観的に話を聴いたり、一緒に考えたりできるんじゃないかなと思うからです。このハイスクールプロジェクトの冊子を一緒に眺めながらたくさん話して、たくさん悩んで、できるだけ実際に高校へ見学に行ったり、話を聴いてみたりしてみてください。あなたのことを応援する大人は必ず近くにいます。

子どもを信じて待つ大切さ ～子どもの良き理解者であり続けるために～

高知大学教授 岡田 倫代（おかだ みちよ）

保護者の皆様、子ども達のこと、きちんと理解しておられますか？

私は長年、定時制の生徒達と関わる中で、大人が子ども達の将来を見据えて、よかれと思ひ発している言葉「あなたのために言っているの！」「そんなんじゃ社会でやっていけないよ！」等が、実は子ども自身を深く傷つけている様子を見てきました。不登校になっている子ども達は、自分なりに悩み考えている最中なので、身動き取れない状態にあるのです。大人は、そんな子どもを心配するあまり、その「心配」がいつの間にか「責める」「要求する」に形を変えてしまうことに気づかないのです。一方、子どもは大人に認めてもらいたい一心で、その責めに耐え要求に応えようともがくのですが、そのうち心が固まってしまい、身動きできなくなるといいます。保護者の皆様、そんな子ども達のデリケートな気持ちに気づいておられますか？

では、そんな子どもの気持ちを理解するためには、どのような関わりが必要なのでしょう。子ども達それぞれの身体的・精神的成長には大きな差があります。特に思春期の子どもは、思春期特有の身体の変化、心の揺れや複雑な対人関係に、気を遣いながら必死で生きています。私たちが、その揺れに付き合うには忍耐力が必要となります。よかれと思ってこちらの思いを優先させ、土足で足を踏み入れると、取り返しのつかない事態を引き起こすこともあるからです。自分の心の揺れにじっくりと付き合ってもらい認めてもらえる体験をした子どもでなければ、自立した大人に育たないと思うからです。私が定時制で関わってきたたくさんの子どもの達は、その子のペースでそれぞれ自己実現を果たしています。かけがえのない自分の人生を楽しんでいます。

子どもの将来は誰が決めるのでしょうか？大人ではありません。子ども自身が決めるのです。「今後10～20年程度で、アメリカの総雇用者の約47%の仕事が自動化されるリスクが高い」（マイケルオズボーン,オックスフォード大学）「2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」（キャシーデビッドソン,ニューヨーク州立大学）が言及しているように子ども達の未来は私達が想像している未来と大きく異なってきます。子どもの過去や今悩んでいる子どもの現状を決して否定しないでください。そして、私達大人も自分自身を責めないこと、私達大人自身がイキイキと明るく元気に毎日を過ごす背中を子どもに見せることこそ、大切だと思います。

日頃私が、そんな子どもたちと接するとき心がけていることがありますので紹介させていただきます。

①子どもと保護者の適度な距離を保つこと

「心のドアは、自分の方にしか取っ手はついていない」とよくいわれます。私たちは、子どもが自分で心のドアを開けてくれるまで、焦らずじっと辛抱強く待つことが大切です。

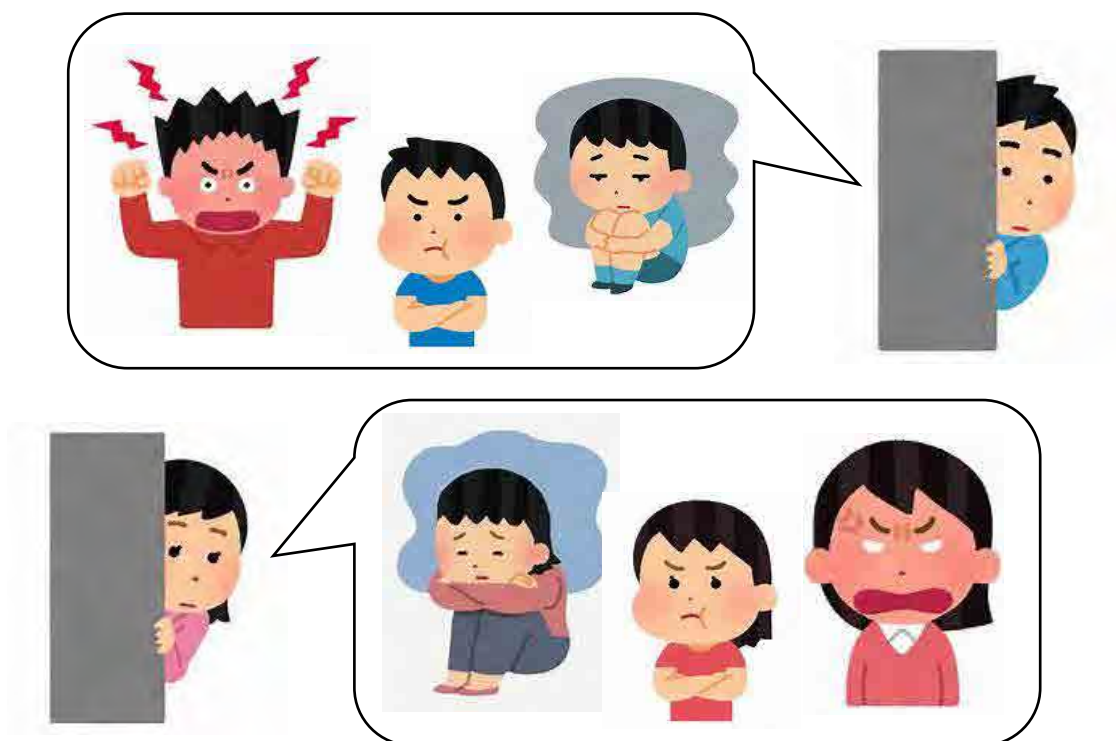
②保護者の価値観で決めつけたり価値観をおしつけたりしないこと

子どもが問題行動を起こしたとき、その仕草や行動だけ見て判断せず、その子の行動の裏にある感情を受け止め、その感情に寄り添うことを優先します。その際、決してこちらの物差しで測らないように心がけ、少しずつ「私はこう思う（私メッセージ）」を活用してこちらの思いを伝えます。

③子どもが何気なく出しているサイン、特にSOSのサインを見抜くこと

「ウザッ!」「むかつく!」「死んでやる!」子どもは色々な言葉を発します。しかし「死んでやる」イコール「死ぬ」ではなく「疲れた、しんどい、助けて」であったりするのです。子どもの発した一言だけで驚いたり怒ったりせず、子どもが発した言葉の前後の様子へ想像を巡らせつつ、話を聴いていくことが大切です。そのためには、こちらが忍耐強くあらねばなりません。

子どもたちの健やかな成長を見守っていくためには、私達大人や保護者が、心にゆとりを持って毎日を過ごしていくことが大切です。特に保護者の皆様こそ、子どもから一番信頼される人間であり続けることが大切だと思います。



プロフィール：元公立高校教員、高知大学大学院総合人間自然科学研究科教授、修士（教育学）博士（医学）、公認心理師、臨床心理士、学校心理士SV、香川大学医学部協力研究員、丸亀市発達障害児支援協働事業推進委員会委員、香川県警察親子カウンセリングアドバイザー、高知ギルバーク発達神経精神医学センター研究員 等

「不登校新聞」から学ぶ親の心得 ～子どもが自分に合った進路選択をするために～

香川大学医学部 鈴木 裕美（すずき ひろみ）

中学校という義務教育が終わったら、どうするのか。どのように生きていけばいいのか、学校生活から少し遠のいていたお子さんは悩んでしまいますね。急に社会の荒波に投げだされるようで、身が縮む思いなのではないでしょうか。

ここで私は大人であるなら10くらいの選択肢を子どもに示してあげてはどうかと思います。「就職して家を出て働くか、全日制高校に行くか」などという、子どもを追い詰めるような貧弱な選択肢ではなく、もっとワクワクするような選択肢がいいですね。もちろん、就職も全日制高校もありますが、通信制高校やサポート校、定時制高校に加えて、このまま家で過ごす、アルバイトをしてお金が貯まったら好きなアーティストのコンサートに行く、留学する、住み込みのリゾートバイトをしてスキューバダイビングの免許を取る、自転車で日本1周する、好きなことをネット配信する、農業や漁業、陶芸、炭焼きなどの修行をする、などもいいのではないのでしょうか。また、「今は決められない」という選択肢も入れておくと、卒業後に家で過ごすにしても、自分で決めたという感覚が生まれてよいと「不登校新聞（548号）」でも書いてありました。ポイントは子どもが自分にはたくさんの選択肢があるのだと感ずることです。未来に絶望する必要はないと感ずることです。親子でたくさんの選択肢にワクワクできるといいですね！

ここからは、「不登校新聞」に掲載されていた記事をご紹介します。進路を考える上で、大変参考になると思いますので、ぜひ、お読みください。

1. 高校進学で『どこに行くか』よりも大事なこと

次のような相談がありました。「中学3年の娘がいるのですが、学校の進路指導で、通信制高校を薦められました。私もいろいろと調べてみると、すてきな学校が多いことがわかりました。また、今のわが子の状態では、全日制高校の学校生活を送ることは難しいと感ずているので、ある程度、自由にできる通信制には賛成です。

しかし、娘はあまり乗り気ではないようです。そうかといって、志望校を聞いてもはっきりしません。このままでは進学できるか心配です。」

この相談についてのポイントは2点です。そもそも高校進学をどう捉えるのか。そして、通信制高校について、です。

まず、高校進学について。文科省の諮問機関「中央教育審議会」（中教審）の1991年答申に次のようなことが書いてあります。「高校進学が社会的強制となっている現在、かなりの数の不本意入学者が出現するのはある程度避けられないが、中学校、高等学校や親の側にも責任の半分があることは否定できない」、「偏差値に大きく依存した（中略）進路指導は、反面、余りに夢のない不自由な現実を生徒や親に強いることとなり、高等学校への不本意入学者を生み、ひいては学校不適応者や中途退学者を増大させる一因となっている」。

この答申は、約30年前のものとは思えないほどに今でも通じることです。高等学校への進学率がほぼ99%である今日では、高校進学そのものに意味を見出す機会さえないほどに、進学は「あたりまえ」になっているのかもしれませんが、しかし、だからこそ、進路について悩むこと自体が、子ど



もにとっても大事な時間なのです。「自分は高校へ行くべきなのか、なんのために行くのか」そう考える自由、そして自分の望んだ進路にチャレンジできる自由が守られるべきなのです。

次に通信制高校について考えてみたいと思います。1955年に生まれたこの制度は、当時、勤労青少年が高等学校教育を受けやすくするためのものでした。

近年では全日制生徒数が減少しているのに対して、通信制は増加し、とくに私立が増えています。その理由としては、通信制高校が、さまざまなニーズや事情、背景のある子に対して、多様で柔軟な学習環境を用意してきたからだだと思います。また、各学校に特色があります。「不登校対応を謳う」などです。しかし、具体的にどんな対応なのか、学習方法や学校生活、卒業後の進路等の情報をしっかり子ども本人が理解し、納得して入学してほしいものです。

最後に、前途の中教審答申の言葉を引用して終わります。「高等学校は義務教育ではないのだから、一般の広い社会常識として、『学校に行かなくてもいい自由』が、『生涯のいつでも学校に戻れる自由』とともに、確立されることがどうしても必要である」。まさに、その可能性の一つとして、通信制高校等を含めた進路を、子ども自身のタイミングで決定できることを保護者として大切にしてほしいと思います。

(不登校新聞545号より転載)

2. 通信制高校について

2020年8月25日、文科省が発表した「学校基本調査」の速報によると、高校に通う生徒数は全国で309万2351人。このうち通信制高校に通う生徒数は20万6994人（前年比9298人増）。5年連続で増加し、高校生17人に1人が通信制の高校になりました。

通信制高校とは、おもに通信で教育を行う高校のこと。学生はレポート形式で与えられた課題をこなしたり、オンライン授業を受けたりすることで単位を取得します。通学日が少ないのも特徴の一つで、通学日は週に数回という場合もあれば、年に1回の合宿でまとめて登校するという場合もあります。こうした特徴を活かしつつ、地域の塾やフリースクールとも連携することで、通信制高校は中学生で不登校になった生徒の「受け皿」としても広がってきました。

近年、生徒数が増えてきた背景には「広域通信制高校」が生徒数を伸ばしてきたことが挙げられます。一般的には生徒数が1000人を超えると「マンモス校」とも呼ばれますが、全国に生徒がいる広域通信制高校の定員は数千人規模。なかでもN高等学校は、全国最多となる約1万5000人が在籍しています。広域通信制高校の生徒数が増えた要因としてN高は「多彩なカリキュラムを自分のペースで学べるころだと考えます」と回答。また、N高では、ジュニアアスリートや「社会で役立つスキルが学べそう」という動機からの入学者も増えているといいます。

一方、通信制高校に入学した後で苦しんだという不登校経験者もいます。取材当時、24歳だった女性もそのひとり。小学生から集団行動や学校になじめず不登校していた女性は、親戚から問い詰められて高校進学を希望。しかし願書を出しに行く日に「家を出たところでボロ泣きして動けなくなってしまって。入学式にも行けませんでした」と語りました。

通信制高校は、通いやすいがゆえに子どもを追いつめてしまうという側面もあります。しかし、それは周囲が子どもの気持ちを無視した対応をしたからこそだと言えます。通信制高校の善し悪しの問題ではないのです。学校に通う、通わないを問わず、子ども自身の気持ちが無視されないこと。それこそがもっと大切な視点だと言えるでしょう。

(不登校新聞538号より転載)

3. 不登校の子どもの進路が不安な保護者の方へ

「不登校傾向だった子どもが、コロナ明けから不登校になってしまいました。今は学校にも行けず、勉強にも全く手をつけていません。現在、中3なので高校受験に間に合わないだけでなく、入学できる高校すらなくなってしまうのでは、と心配しています」という保護者の方からの相談です。これについての典型的な回答は、「（不登校でも）高校に通学はできる」です。

文部科学省の「不登校に関する実態調査」（2014年）によれば、中学での不登校経験者のうち約85%の人が高校に進学しています。また、さまざまなスタイルの通信制・定時制高校も多くなり、「高卒認定試験」を目指す方もいます。こうした現状を知れば保護者としての心配はいくらか緩和されるのではないのでしょうか。

ただし進学相談は、それこそ古くから存在し、廃れることはありません。なぜ残っているのかというと、2つの要素が絡み合っているからだとは私は考えています。

2つの要素とは、「学習の遅れ」という目に見える課題と、「子どもが抱えている不安感」という把握しにくい心情です。遅れと不安はつながってはいますが、片方を解消すればもう片方もなくなるわけではありません。そこに難しさがあるのだと思います。

「とりあえず勉強だけはなんとかしたい」と思う方は多いと思います。しかし、遅れを取り戻すことはできても、学校への恐怖心など本人の根本的な悩みが未解消ではつまづくこともあります。逆に不安感を取り除けても、「遅れ」については別途、向き合わなければなりません。（中略）

子どもは「不安感」を抱えていると「（今は）高校に行きたくない」と思っていたり、進路について考えられなかったりするものです。それにもかかわらず、周囲の雰囲気によって「〇〇高校『で』いい」といってしまう子がいます。「志望校は聞けましたが心配なんです」という保護者の声もよく聞きますが、そこには子どもの「投げやり」や「あきらめ」を感じてしまっているからでしょう。理想的には、子ども自身が進路について自然に考えられるように、まずは「明日への安心」を持ち続けるのが大事です。私たちのフリースクールでも、安心の積み重ねの先に、なんとなく将来に思いをはせることができるようになり、その過程で高校入学の必要性を感じる子が多いからです。そして、そんな進路選択には、あまり切迫感がありません。

義務教育期間をすぎると多様な進路があります。ポジティブに捉えるなら、自分の思いをかたちにできる可能性が広がっているのです。その第一歩として、**自分は何が好きなのか、ラクなのか、そういうことを自覚すること**。そして、**「ラク」や「好き」をするのは悪いことではない、と実感できなければなりません**。私が、子どもの「安心感」を大切にしているのはそんな理由があるからです。

（不登校新聞537号より転載）

4. 「不登校その後」を10年以上取材して

不登校の子どもを持つ親が気になることに「進路」があります。インターネットが発達し、学校へ行かなくてもさまざまな知識を得られる時代になりました。そうしたこともあってか、「よい学校を出て、よい会社に就職なんて声もしばしばきかれますが、そう簡単に割り切れるものではありません。「せめて学校に行ってくれたら」「せめて高卒資格くらいは」という思いを抱えながら悩まれている親御さんは少なくありません。

消防士、鉄道運転士、獣医、介護士、作業療法士、社会福祉士、カフェ店員、漫画家、システム

エンジニア、NPO職員。これらの職業名、いったいなんだと思いますか？実はこれ、『不登校新聞』に登場した不登校経験者の「進路」なんです。あくまでもその一部を挙げたにすぎませんが、パッと見ただけでは、それが「不登校その後」の働き方、就いた職業だとわからなかったかもしれません。

本紙ではこれまで1000人を超す不登校経験者の体験談を紹介してきました。私も数多くの不登校経験者に取材してきました。小学校にほとんど通っていない子もいれば、高校生になってから不登校をした子もいます。いじめが原因で不登校になった子もいれば、教員からの体罰があった、学校の雰囲気があわなかった、と話す子もいます。拒食症になり体重が30キロになってしまった子もいれば、不潔恐怖症により自分のベッドから降りられなくなった子もいます。そんな彼らも、今では自分の道を歩いています。

不登校と進路を考える際、よく話題にあがるのは高卒資格です。この点については、通信制高校や定時制高校の多様化に伴い、10年前、20年前と比べて、高卒資格はとりやすい状況になっています。また、学校に通わずとも、毎年、夏と秋に年2回行われる「高等学校卒業程度認定試験」に合格すれば、高校卒業と同程度の学力を有していると認められ、大学や専門学校への進学はもちろんのこと、就職の際の履歴書にも書くことができます。16歳で取得することができますし、20代、30代になってから取得することもできるわけです。

私は「今を大切にしてほしい」という話をよくします。なぜなら、私が先ほど紹介した不登校経験者の多くは「今を大事にしてもらえた」という**実感**を持っていたからです。

つらさのあまり拒食症になろうとも、他人の目が怖くて家に引きこもろうとも、彼らが生きている「今」を否定されることがなかった。そのなかで、少しずつ元気を溜め、自己決定を重ね、自分のペースで歩いてきた。それが、子ども自身の土台につながっている。その土台があるからこそ、将来をきちんと考えることができる。

親はつい、将来のことを考えて先まわりしてしまいがちですが、その将来は「今」と地続きでつながっています。だからこそ、安心できる将来のためには、安心できる「今」が欠かせません。10年以上に渡り、「不登校その後」取材してきた中で、私が学んだことの一つです。

(不登校新聞527号より転載)

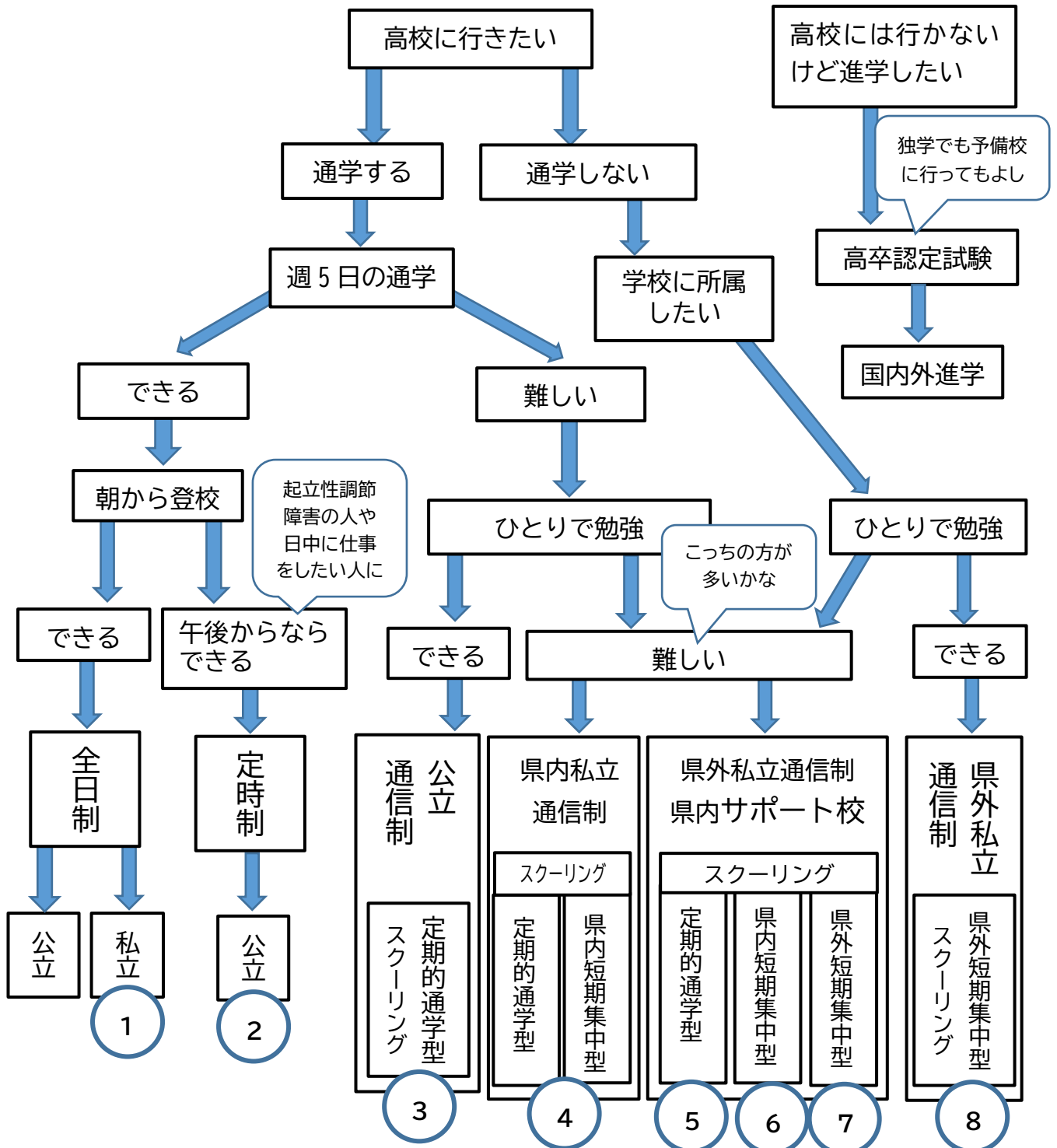
* 下線・太字筆者



不登校新聞



進学先選びのアルゴリズム



学校にはそれぞれいろいろな特徴があります。
 あなたに合った学校が必ずあるはず。
 気になる学校は、必ず自分の足で訪問し、
 自分の目で確かめ、自分の耳で話を聞こう！

学校紹介の左上の
 番号は、上記の分類に従っています

【定時制高校】

- ・午後3時始業や5時始業など様々で、終業は9時くらいです。
- ・基本4年間ですが、3年間で卒業できる学校もあります。
- ・起立性調節障害で、午前中の活動が難しい人や日中の就労等が必要な人におすすめです。
- ・就学支援金の対象で、全日制同様、授業料は無料または減額されます。

【通信制高校】

- ・通信制高校は通常、登校せず自宅で課題をこなして提出します。
- ・スクーリング（本校または指定会場での対面授業）が必須です。
- ・就学支援金の対象で、全日制同様、授業料は無料または減額されます。

【公立通信制高校】

- ・県内にあるので通学しやすいことがメリットです。月2回程度のスクーリングで、普段は一人で勉強する必要があります。決められた登校日以外は体制が整っていない等、登校が難しい場合やサポート校もないことがあります。

【私立通信制高校】

- ・登校日数や専門的に学べる内容によって、複数のコースが用意されていることが多いです。例えば、ほとんど登校しなくてよいオンライン学習がメインのコース、ほとんど毎日登校する進学を目標にしたコース、美容や料理、デザインなど特色のある専門科目を専門学校などと連携して提供するコースなどがあります。

【サポート校】

- ・サポート校は、提携する通信制本校の卒業を目指し、サポートする「学びの場」です。
- ・通信制本校に入学し学費納入（就学支援金対象）の上、別途サポート校に入学する必要があり、その費用は、就学支援金の対象外です。
- ・県外通信制高校の分校が県内にあり、学費を県外本校にのみ納入し、その全額が就学支援金の対象となっているが、機能的にはサポート校に類似している学校（松陰高等学校など）があります。分類は便宜上「分校型サポート校」とします。
- ・通信制高校だけだと心細い。居場所や日々会える先生や友達がほしい人におすすめです。
- ・基本的に少人数指導で、通信制本校の課題提出等のサポートをし、進学指導もします。
- ・カウンセラーなどメンタルのケアをしてくれる専門家を配置しているところもあります。
- ・バイトの面接練習など、生活のサポートをしてくれるところもあります。
- ・1つの通信制高校（本校）に複数のサポート校が県内に存在することがあります。サポート校によって金額やサポート内容が違うので、比較検討する必要があります。

【スクーリング】

- ・スクーリングは、通信制高校を卒業するために必須で、主に3つの方法があります。
 - ① 定期的通学型：所属する県内通信制高校やサポート校に通学するとスクーリングとして認められる。
 - ② 県内短期集中型：所属するサポート校とは別の会場に、年に1~2回、1週間程度通学する。
 - ③ 県外短期集中型：県外の通信制本校または指定会場に、年に1~2回、1週間程度、ホテル等に宿泊しながら通学する。合宿形式の場合もある。



見学で聞いてみたいチェックポイント ～学校選びを失敗しないために～



子どもと大人の学びを考える任意団体 子どもへのまなざし代表 伊藤 明子（いとう あきこ）

学校選びをする時は、必ず見学をして学校の人に話を聞くことが大切です。聞きたいことをリストにしておく他、他の学校と比較できて便利です。ここでは私が見学で聞いておくといふ質問をご紹介します。参考にしてみてください。

学習について

1. 「年間の登校数やレポートの回数、オンライン授業の回数を教えてください」

→学校によっても、学校内のコースによっても登校数や期間、学習内容・方法が違います。よく確認し、メモを取って、比較検討しましょう。

2. 「レポートを学校外に持ち出し、家ですることはできますか？」

→学校外へ持ち出し禁止の学校もあります。登校ありきのレポートの場合、登校が難しい（難しくなった）子には学習継続が困難になりますので、注意しましょう。

3. 「大学進学をしたいとき、受験勉強のサポートはしてもらえますか？」

→通信制の学習サポートだけで、受験勉強の対応は難しい学校もあります。別途、塾に行かなくてはいけなくなるかもしれません。大学受験をするか決めていなくても、聞いておきましょう。

スクーリングについて

4. 「本校へのスクーリングは年間何回、1回何日ありますか？」 「スクーリングは何回かに分けることができますか？」 「サポート校の職員が県外スクーリング地に同行しますか？」

→回数や1回の日数、そして重要なのが場所です。県内なのか、県外に行かなくてはいけないのか。県外ならホテルを自分で手配して宿泊しないといけないのか、学校が合宿所を用意してくれるのか、費用はどのくらいかかるのか。また、1週間の予定で行ったものの、体調不良や慣れない集団生活で途中で切り上げざるを得ないこともあります。半分行けたのに一度に全部をこなさないと、もう一回全日程をやり直さないといけない学校もあるから、よく確認しておきましょう。また、顔見知りの職員と一緒にスクーリング地に行ってくれたら心強いですね。誰も知らないところで何日も過ごすのがきつくて、帰ってきてしまう子もいるそうです。

5. 「本校へのスクーリングに参加できない場合は、他の課題で代用できますか？」

→これも大事な質問です。怪我や病気は誰にでもありますから、スクーリングに参加できず留年するようなことがないように、入学前に確認しておきましょう。

通信制高校の学習は、①レポート、②スクーリング（登校・面接指導）への参加、③教科ごとに実施されるテスト（単位認定試験）で評価されます。

レポートとは、対面授業が少ない代わりに提出するもので、生徒が学習内容をどれだけ理解しているか、どこでどのようにつまづいているかを教員がチェックし、添削指導していくことを目的としています。そのため、例えば教科書の対応ページを読みながら空欄を埋める基礎問題集のような内容・形式になっているものが多く見られます。また、総合的な学習の時間のレポートなどでは、自分で資料を探してまとめるような自由研究に近いものもあるようです。

制度や規定などについて

6. 「教室以外の居場所がありますか？保健室や別室での登校が許可されていますか？」

→体調によって一人で過ごせる場所が用意されていると安心です。教室しかない学校もあります。

7. 「週3日登校コースに入っているのに、3日間登校できないとどうなりますか？」

→その分、進級後に休まず登校しないといけなくなる学校もあるので、確認しましょう。

8. 「週1コースの場合、登校日は自由に決められますか？」

→決められた曜日しか登校が許されない学校があります。そうするとプレッシャーで登校しづらくなってしまふことがあります。自分の体調や気分自由に登校できるかを確認しましょう。

9. 「様々なコースがある場合、コースの変更は可能ですか？」

→卒業までの長い間に体調を崩し、登校できなくなったり、逆に登校できるようになったり、興味や希望が変わることは十分考えられます。そういう時に、入学時にいったコースの変更ができるかどうかは重要です。もし、可能な場合、年度の途中でできるのかも確認しておきましょう。

10. 「先生に相談したい時は、どのようにすればいいですか？」

→保護者からの相談に学校がどのように対応してくれるのか確認しておきましょう。相談する際は、相談したい事を忘れないために箇条書きにしたものを持って行くと便利です。子どもの性格や特性、得手不得手、家庭での過ごし方などを書いておき、ファイルしておくとう話合際の共有資料となります。その都度、書き込みを増やしていくと成長や強みを発見できたりもします。

学費について

11. 「学費は年払いですか？」

→年払いが多いと思いますが、前期後期で分けて払える学校もあります。こちらから聞かないと言われないので確認しましょう。

12. 「別費は年間約どのくらいですか？」

→学費とは別に様々な事柄（参加費や年会費）で費用がかかります。また、通信制本校の学費が就学支援金対象で安価だったとしても、サポート校の学費は就学支援金の対象外ですので、全体の学費は高額になることがあります。

13. 「就学援助金はすぐ使えますか？次年度からですか？」

→各校様々です。次年度から適応され、卒業年度に返金される場合もあります。家計に影響するので、確認しておきましょう。

通信制は入るのが簡単ですが、在学中「こんなに大変だと思ってなかった」と言う子も多いです。学校生活が苦手だったり、スケジュール管理が難しく挫折する子もいます。そんな子どもを見て悩んでる親の姿に心を痛め、自信をなくして引きこもる子や病気になる子もいます。

ですが、心配しないでください。乗り越える方法はあります。それは悩んだ時や不安な時に一人で頑張らず、君たちを応援している人で、話しやすい人に相談することです。生活する中で、考えること、選ぶこと、相談することは大事で、それが「生きる力」になります。たくさん迷って悩んで、やってみて、たくさん失敗していいんです。大切な君たちの成長を見守りながら、大人は必要な時に力になりたいと思っています。一人で頑張り過ぎないでくださいね。

そして、親であるみなさんも相談していいんです。たくさんのおん援者が周りにいます。一緒に悩み考え話し合ってください。いつか子どもを社会へ送り出す時、「あなたは大丈夫！やっごらん」そう安心して背中を押してあげられるように、親も子どもと一緒に成長していきましょう。

高等学校卒業程度認定試験

1. 高等学校卒業程度認定試験（高卒認定）とは

*以降、高卒認定と記載します。

- ・高卒認定は高等学校を卒業していないなどのため、大学等の受験資格がない方に対し、高等学校卒業者と同等以上の学力があることを認定する「文部科学省」の公的資格です。
- ・試験は年2回(8月、11月)、出願はそれぞれ5月上旬、9月中旬まで。
- ・合格要件の8科目合格を以て、高卒認定試験合格となります。(複数回の受験で獲得した合格科目の合計が合格要件を満たしているときも高卒認定合格となります)
- ・合格者は、日本国内の大学、短大、専門学校および、高等学校卒業者を対象とする就職、資格試験等を受けることができます。大学入学資格検定(大検)は、高卒認定の旧名称です。
- ・合格者の進路は、高校を卒業する方と同じで、いろいろな分野で活躍されています。

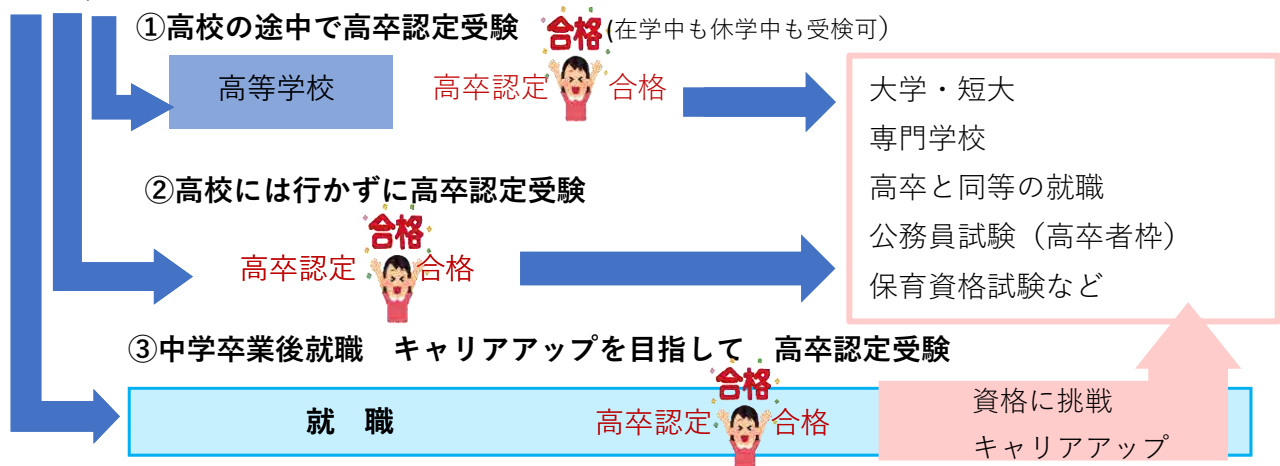
2. 利用のしかた



満16歳になる年度(高校1年生の年)から受験でき、高校在学中にも受験可能です。ただし、すでに高校を卒業している方は受験できません。

*詳細は文部科学省ホームページで確認することができます。

中学卒業



3. 令和2年実施の第1回・第2回高卒認定について

出願者	受験者	合格者	合格率	1科目以上の合格率
18,825人	16,654人	7,681人	41.60%	94.70%

※全ての科目を一度で合格するのは大変。でも、1科目なら合格率はこんなに高い!

合格者の平均年齢	受験最高齢	合格最高齢	最も多い受験年齢
22.6歳	83歳	72歳	16歳~18歳

16歳~18歳受験者	48.10%
16歳~18歳合格者	53.10%

※ここでの合格者はすべての科目の合格者です。

(文部科学省 報道発表 令和2年12月10日より著者作成)

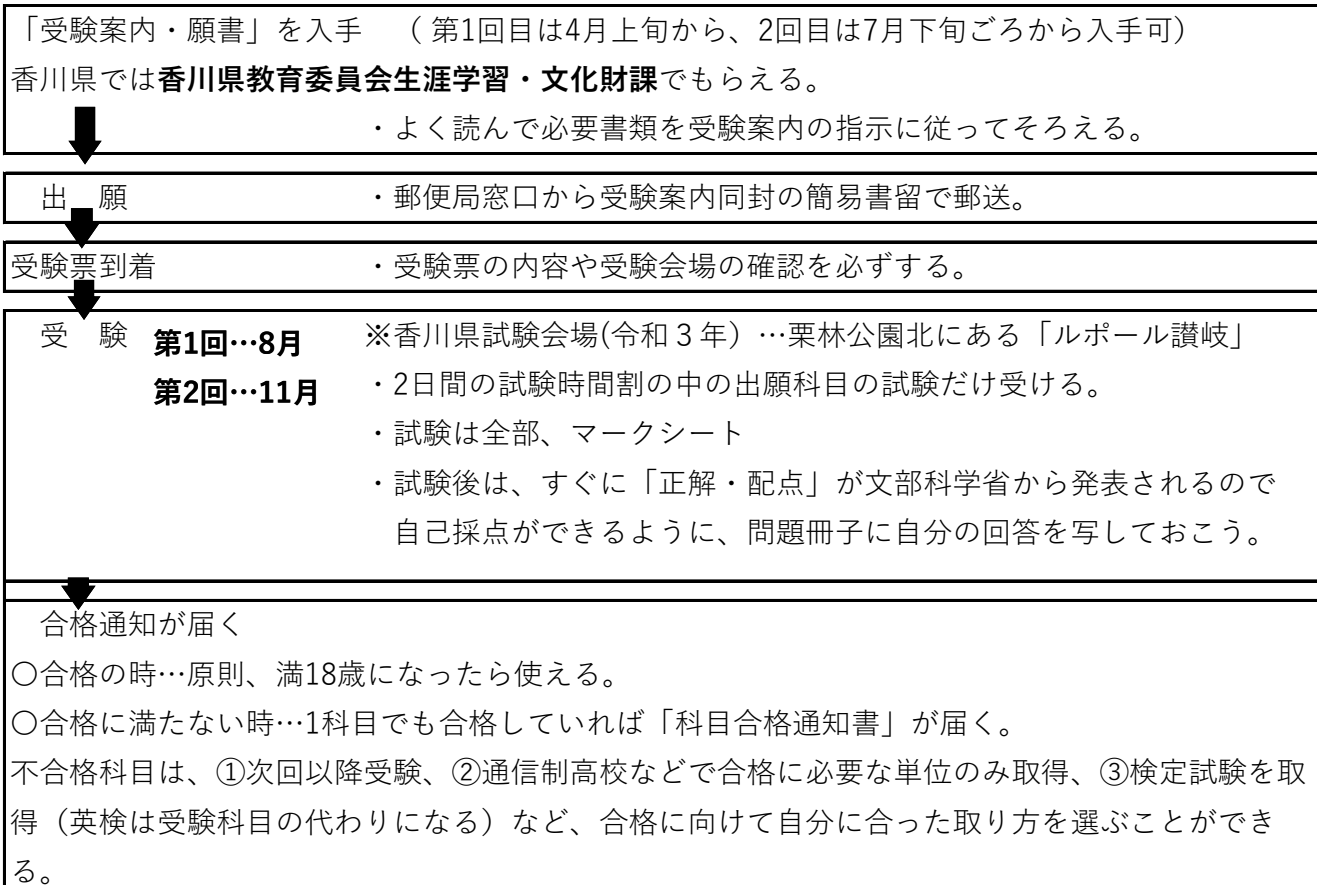
4. 高卒認定を受ける際のおすすめポイント

- (1) 試験料が安価です。(7科目以上8,500円、4~6科目6,500円、3科目以下4,500円)
- (2) 難易度は中学から高校1年の基礎問題で、合格ラインは40点(100点満点中)と低いです。
- (3) 自分のペースで少しずつ科目合格を積み重ねることが可能です。
- (4) 高校で単位を取得していれば、受験科目が減ります。

目安: 高校1年生修了者...平均2~3科目受験、高校2年生修了者...平均1~2科目受験

(5) 高卒認定合格が大学、専門学校の自己推薦出願の要件になることも多いです。

5. 受験の流れ



6. 高卒認定Q&A

Q：「高卒認定に合格すると高卒の学歴になりますか？」

A：合格者は高卒者と同等以上の学力が認められ、進学・就職でも同等に扱われますが、高卒の学歴にはなりません。さらなる進学により最終学歴は大学卒業・専門学校卒業となります。

Q：「身近に受験した人が少ないので、不安なんです」

A：全国では毎年約2万人の方が出願しています。高卒認定の予備校のホームページ等でも多くの方の合格の体験談を見ることができます。

Q：「テスト勉強はどうやってすればいいですか？」

A：過去問は文部科学省のホームページで見ることができます。ただし、著作権の関係で国語の小説など閲覧できないことがあります。書店で販売している対策問題集には問題がすべて載せてあるので解いておくといいです。また、ネットの情報も活用し、自分に合った勉強法を見つけましょう。無料で基礎的な問題練習ができるものもあります。

Q：「持病があり、試験会場で試験が受けられるか不安なんです」

A：心身に関する特別措置があります。事前の申請で安心して取り組めるようにしましょう。

文責：吉野 孝子（よしの たかこ）


学校紹介の見方

学校名が2段書きの場合

私立△△高等学校
○○キャンパス・校

⇒ 上段は通信制本校の名称で、卒業証書を発行する学校です。
⇒ 下段はサポート校名です。

学校ホームページのQRコードです。

サポート校	私立かまたま高等学校	
5	たかまつキャンパス	

キャンパスでは、教科のレポートや視聴票をしています。わからないところは、先生に教えてもらっています。中学校の時は学校に行っても教室に入らずに、保健室に行っていました。人と話すことが苦手で、人の目ばかり気にして、自分のやりたい事など考えたこともありませんでした。そんな私ですが、高校には行きたくて、通信制のかまたま高等学校を受験することにしました。入学してから、先生に「高校生になりたいことは？興味があるものがあったら、教えて！」と、言われて「アルバイトがしたいけど、無理やと思う」と答えました。でも、今は、アルバイト

本校所在地	東京都
サポート校(所在地)	香川県高松市1
入学できる都道府県	全国
服装・規定	制服等の指定なし
スクーリング場所	※通いなれた教室で卒業までのすべてが完結します。
スクーリング期間	履修に応じて必要な時間数教室で授業を受けてもらいます。

学習コースや特徴	
○自学自習が学習の基本です。	
○月に2~3回、日曜日に登校して面接指導(スクーリング)や特別活動に出席します。	
○家庭学習によりレポート課題を提出し、授業でさらに学習を進めます。	
○仕事や健康上の理由等で毎日学校に通うことができない人にも対応しています。	

卒業生の声	
アットホームな雰囲気だと思います。途中転入してくる人が多い学校なので、先生・在校生共に新しく入ってくる子を温かく迎え入れようとする心を持っているところは転入してくる側からしたらとてもありがたいことです。とにかく通いやすい！先生も初めて会う生徒もみんなフレンドリーで	

クラブ活動	イベント学校行事
○部活動はありませんが、希望者は県高校定通総体に出場します。	○つどい(新入生歓迎行事) ○文化祭(9月)

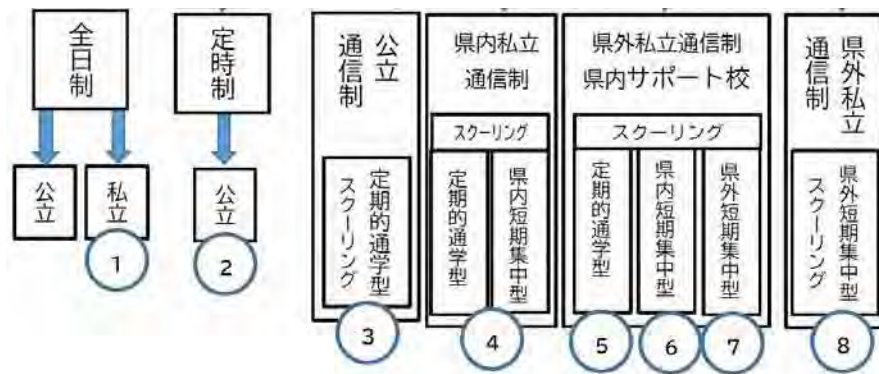
保護者からの言葉	
毎日楽しそうに学校に行っているのがとても嬉しいです。自己管理が身につけやすいカリキュラムなので、校則や人間関係にとらわれすぎずに通えるのはおすすめです。また、先生との交流も濃い、先輩・後輩の隔たりがないのはのびのび過ごせるポイントだと思います。とても丁寧な話を聞いて下さいます。また、待ってくれます。本人のことをよく見てくれて	

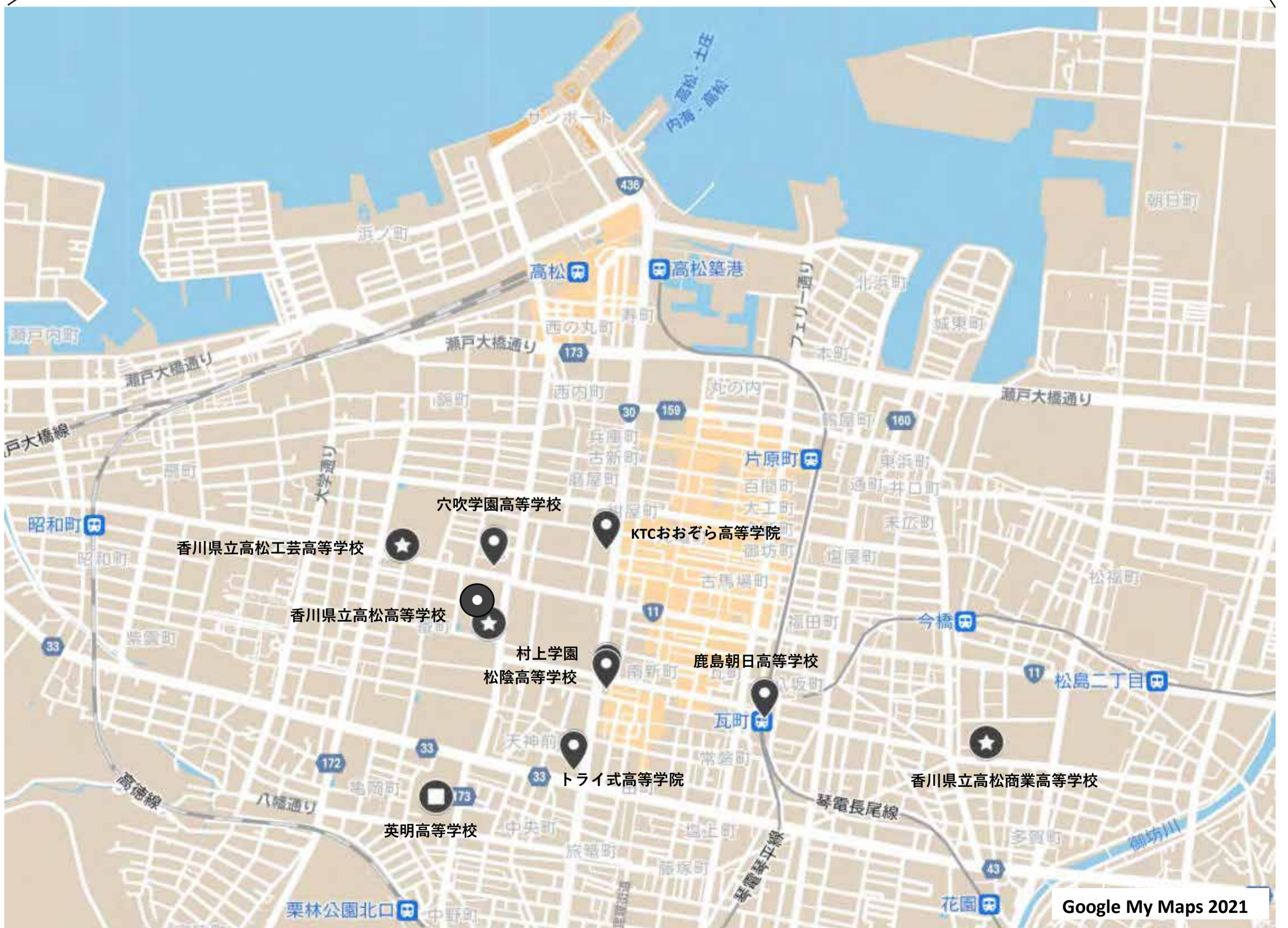
募集要項			
募集人員	30名(転入生・編入生含む)	選考方法	書類選考(入学書類提出後に面接)
出願期間	R4/3/1~12 R4/3/14~18		


先生からの言葉	
職員一同、一人でも多くの生徒が笑顔になれるよう、そして、その生徒が家族やまわりの人を笑顔にしていけるよう、生徒と共に日々成長していきたいと考えています。ものの見方や、考え方は人それぞれ、みんな違ってみんないい。違っていいからこそ、気づきや学びがあります。生徒自身が物事をどう見て、どう考えるか、私たち職員は生徒に寄り添い、一緒に見	

学校のおススメポイント	
○学習会(水曜日・金曜日)ではレポート作成のアドバイスが受けられます。また、進学希望者向けの英語、数学の対策講座を開講しています。	
○ジョブサポートティーチャーによる個別進路指導が充実しています。	

左上の番号は、「進学先選びのアルゴリズム」の分類に従っています。(10頁参照)






定時制 2	香川県立小豆島中央高等学校	
----------	---------------	---

本校所在地	香川県小豆郡小豆島町蒲生甲1001
サポート校(所在地)	なし
入学できる都道府県	香川県内全域
服装・規定	私服登校可

学習コースや特徴
<p>「特徴」・働きながら学びたい人 ・少人数で学びたい人 ・ゆっくり学びたい人 に向いています。</p> <p>「2年次から、三修制と四修制の2つのコースに分かれます」 1年 2年 3年 4年 共通 → 三修制 → 三修制 → 四修制 → 四修制 → 四修制</p> <p>・三修制：卒業単位を3年間で修得。2年からは1日6時間(15:20～20:30)授業。 ・四修制：卒業単位を4年間で修得。1日4時間(17:10～20:30)授業。</p>

クラブ活動	イベント学校行事
なし	遠足、定通総合体育大会、料理教室 スポーツ大会、観月会（お茶会） 企業見学（地域探究）、映画教室 クリスマス会、もちつき大会等

募集要項				
募集人員	40人	選考方法	基礎学力検査	
出願期間	一時募集は全日制と同じ 二次募集：R4/3/22～3/23		面接 調査書	

学校のおススメポイント
<p>・仕事（アルバイト）がしたい → 17:10スタートなので、仕事との両立が可能</p> <p>・卒業に全日制より1年多くかかる → 三修制なら、3年間で卒業できる</p> <p>・勉強が苦手なので、卒業できるか心配 → 四修制なら、普段の授業や定期考査の科目が少なく、ゆっくりと学べる</p> <p>・友人関係が不安 → 全校生17名（R3.9月現在）と少人数教育なので安心</p>

在校生の声

・ 中学時にあまり登校できていなくても、勉強が少し苦手でも、今は楽しく通えています。

卒業生の声

保護者からの言葉

先生からの言葉


成長したい、学習したいという主体的な思いが大切です。
前向きな気持ちがあれば、これまでできなかったことを仲間たちとともに実現していける温かい環境が、ここにはあります。

定時制 2	香川県立三木高等学校	
----------	------------	---

本校所在地	香川県木田郡三木町平木 7 5 0
サポート校(所在地)	
入学できる都道府県	香川県内
服装・規定	特になし

学習コースや特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・ 午後 3 時からの「夜間前授業」と午後 5 時 2 5 分からの「夜間授業」があり、選択の仕方により 3 年間での卒業が可能です。 ・ 選択授業が多く、様々な進路に対応した時間割を組むことができます。 ・ 「数学」「英語」で基礎的な科目を設けるなど、学び直しにも力を入れています。 ・ 商業の科目も設定されており、各種検定取得に向けた学習もすることができます。 ・ 秋季募集により後期（10月）からの入学と、前期（9月）での卒業も可能です。

クラブ活動	イベント学校行事
6月に定時制通信制総合体育大会が行われ、多くの生徒が参加しています。今年は、バドミントン・卓球・剣道・陸上に参加し、卓球女子が団体優勝をし、全国大会に出場しました。剣道、陸上も全国大会の切符を手に入れました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修学旅行は隔年で実施します。 ・ 校外学習は前期と後期 2 回行います。 ・ 生徒会が主体となって行う行事として、文化祭・クラスマッチなどがあります。

募集要項				
募集人員	右記のURLでご確認ください	選考方法	右記のURLでご確認ください ださい	
出願期間	右記のURLでご確認ください			

学校のおススメポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな学習歴などを有する生徒が「学びの再チャレンジ」に取り組み、楽しく集える学校です。 ・ 定通総体や生活体験発表会で全国大会へに出場するなど、校外でも活躍しています。 ・ マイ・リサーチ（総合的な探究の時間）では、自分の興味関心や進路に関する研究を行い、発表会を開きます。

在校生の声

三木高校定時制の良さはたくさんありますが、2つ紹介します。

一つ目は、「単位制」であることです。三木高校は大学と同じように単位制を採用しています。自分に必要な授業を自分のペースで学ぶことができます。最短三年で卒業ができる定時制です。

二つ目は、「少人数」です。授業や特別活動などの学校生活においては、少人数の活動が中心です。特に授業においては、少ない人数なので、先生に質問もしやすく先生との距離が近いのも魅力の一つだと思います。

卒業生の声

三木高校定時制は単位制で、自分で時間割を組み、空き時間には進路に向けた準備に取り組めるという点にとっても惹かれました。大学進学を考えていましたが、最初は勉強方法もわからず不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、先生方の有意義なアドバイスや勉強に集中できる学校環境のおかげで目標に向かって努力でき、第一志望の大学に入学できました。今振り返ってみると高校生活はあっという間でしたが、人間的にも精神的にも成長できた3年間だったと思います。

保護者からの言葉

- ・中学生の頃は体調不良が続き、学校へ行くのが大変で休みがちでしたが、午後から始まる定時制で自分のペースで通えるようになりました。
- ・生徒に寄り添ってくれる先生方、他人を思いやる心を持った子どもたち、安心できる環境の中で未来へと進んでいけています。
- ・少人数の中、教育面でもしっかりとサポートしてくれたり、一人ひとりを尊重して自分の力を試せるチャンスを与えてくれたりして、日々の頑張りを引き出してくれます。
- ・子どもが起立性調節障害で朝起きられず、行ける高校があるのかと悩みましたが、午後3時から6時間授業があり、しかも公立高校であるということで、無理なく通えています。

先生からの言葉

- ・三木高校定時制は、「学びの再チャレンジ」を応援する先生方と仲間がいっぱいです。
- ・午後からの授業は、体調を整えて無理なく通えます。
- ・単位制は、自分の得意教科を伸ばしたり、苦手教科の克服に有利です。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが週1日常駐していますので、相談にのってくれます。
- ・高校進学で悩んだり、不安に思うことがあったら、三木高校定時制へご連絡ください。

定時制 2	香川県立高松高等学校	
----------	------------	---

本校所在地	香川県高松市番町3-1-1
サポート校(所在地)	なし
入学できる都道府県	香川県 (例外あり)
服装・規定	制服等の指定なし

学習コースや特徴
<p>○普通科（単位制） 4年制 3学期制</p> <p>○夕方からの授業で、昼間を有効活用できます。</p> <p>○生徒のほとんどが10代です。</p> <p>○経済的負担が小さい。</p> <p>○少人数で、各クラス数名程度での授業です。</p> <p>○中学校の内容の学び直しの時間（週1コマ）があります。</p> <p>○生徒会主催の行事があります。</p> <p>○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、ジョブサポートティーチャーと連携しています。</p>

クラブ活動	イベント学校行事
<p>○定通総体では、毎年バドミントンと卓球に出場しています。 （今年度は卓球で全国大会にも出場）</p>	<p>○新入生研修（4月）</p> <p>○文化祭（9月）</p> <p>○観月句会（11月）</p> <p>○校外研修（11月） など</p>

募集要項			
募集人員	40名（R3年度）	選考方法	<p>一般選抜：学力検査、面接 調査書 等</p> <p>2次募集：基礎学力検査、面接 調査書 等</p>
出願期間	<p>一般選抜：R4/2/15,16 志願変更 R4/2/21,22,24</p> <p>2次募集：R4/3/22,23</p>		

学校のおススメポイント
<p>○小人数でアットホームな雰囲気の中、学校生活を送ることができます。</p> <p>○授業も、基礎からゆっくりと学ぶことができます。</p>

在校生の声

(1年を振り返っての声)

- 定時制に入り、アルバイトを始めたり、免許をとってみたい忙しい1年であったが、いい年であった。
- 中学生の時は休みがちで嫌なことから逃げていたので、入学時に毎日学校へ行くという目標を立てたが、その目標を達成できただけでなく、それ以上に充実した1年だった。
- 新しいことを始めたり、苦手だったことに挑戦したり、精神的に成長できたと思える1年だった。

卒業生の声

高松高校定時制に進学したことは、自分の中でとても良い選択だったと思います。

私は、中学1年生の時に起立性調節障害を発症し朝起きられなくなったので、定時制に進むことを決意しました。入学当初は、クラスに女子が私1人だけだったことや、4年間通わなくてはならないことをマイナスに捉えていました。ですが、クラスメイトは様々な理由で定時制にきているので人の気持ちに寄り添える優しい人ばかりでしたし、先生方も気さくで悩みがあれば相談しやすい環境だったので、とても居心地が良かったです。また、定時制は1学年の人数が少ないので、クラスメイトや先生との距離が近く、家族のような存在になっていきました。

入学当初はは全日制よりも1年長く通うことをマイナスに捉えていましたが、卒業した今は、自分のペースに合わせて通えたことや、アルバイトや短期留学など4年間で様々なことを経験できたことで大きく成長できたので、良い経験になりました。

令和3年3月卒業 SKさん

保護者からの言葉

起立性調節障害があったので定時制を選びましたが、それを思いつかずに全日制に通っていたら、毎日体調が悪く朝起きられていなかったもので、最初は頑張ったと思いますが、結局中退を余儀なくされたと思うので、定時制を選んで良かったです。


娘は基本的に大人数の中で過ごすことが苦手なので、少人数の定時制で学校生活を送れたことが娘にとってとても良い選択でした。心身ともに辛い中、毎回の定期テストで良い成績をキープし、短期留学に挑戦したり、アルバイトを頑張って継続したことなど様々な成長が見られました。

先生からの言葉

入学してこられる方は、みんないろいろな状況や悩みを抱えています。

それぞれの生活状況に合わせて、真面目に学ぶ意欲と態度をもった生徒を応援したいと思っています。

受験を考えられる際は、必ず学校見学に来てください。

定時制 2	香川県立高松工芸高等学校	
----------	--------------	---

本校所在地	香川県高松市番町2-9-30
入学できる都道府県	県外からの入学志願者は香川県公立高等学校入学志願許可願書を提出し、許可が得られれば出願可
服 装	原則として自由（生徒らしく、質素・清潔で端正にするよう心がける）
通学方法	徒歩, JR, 琴電, バス, 自転車(許可制), 原動機付自転車(2年次以降許可制)
アルバイト	原則として自由（酒類を扱う店、遊興店、深夜営業店 などは禁止）

学習コースや特徴	
<p>インテリア科、機械科、建築科の3学科があります。本校定時制は「学年制」で各学年での教育課程の修了を繰り返すことにより、4年間かけての卒業となります。（本校には「三修制」がありませんのでご注意ください）</p> <p><u>インテリア科</u> インテリアに関する基礎知識と技術を習得させ、室内環境の構成、施工などに関連した業務に従事する技術者として必要な能力と態度を育てます。主に木材を使った家具・インテリア用品・クラフト製品などを制作します。</p> <p><u>機 械 科</u> 機械に関する知識と技術を習得させ、機械工業に関連した業務に従事する技術者として必要な能力と態度を育てます。旋盤、フライス盤を操作して機械の部品を作ります。</p> <p>（※自動車整備士の資格は取得できません）</p> <p><u>建 築 科</u> 建築に関する基礎知識と技術を習得させ、建築に関連した業務に従事する技術者として必要な能</p>	

クラブ活動	イベント学校行事
<p>運動部（軟式野球・陸上・バドミントン・バスケットボール・卓球・ソフトテニス）、文化部（美術・機械・ギター）があります。R3年度は野球、陸上、卓球、ソフトテニスが全国大会への切符を手にしました。</p>	<p>リーダー研修、全校スポーツ大会、生活体験発表大会、遠足、3・4年生が参加する修学旅行といった学校行事、生徒会活動等が行われています。また、他校の文化祭に相当する工芸展では定時制の展示も行っています。</p>

募集要項（※詳細は香川県公立高等学校入学者選抜実施細目を参照のこと）			
募集人員	11月に入学定員発表 (R3年度は3学科とも各40名)	選考方法	<p>○一般選抜（学力検査、面接、インテリア科の入学志願者には適性検査を課す）</p> <p>○第2次募集（基礎学力検査、面接）</p>
出願期間	一般選抜は2月中旬 第2次募集は3月下旬		

学校のおススメポイント
<p>4学年ともに学科ごとの学級編成なので、定時制全体で12学級です。現在、定時制全体で53名の生徒が在籍しており、各学級では最小1名、最大6名の生徒数です。職員数は県下の定時制の中で最大数で、就職をサポートするジョブサポートティーチャーや悩み相談ができるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーも配置されており、きめ細やかな指導が行われています。実習教諭を含めたTTや少人数授業を適宜実施することで、生徒個々の理解度や作業スピードに応じた授業を実施してい</p>

ます。

在校生の声

卒業生の声

保護者からの言葉


先生からの言葉

高松工芸高校は明治31年に開校し、120年を超える歴史のある学校です。工業の専門高校であり、実習や専門の勉強がたくさんあるため、興味関心がなければ4年間の月日がつらい日々になってしまいます。「ものづくり」は好きだという人、「ものづくり」に興味があるという人、興味はあるけど様々な理由で不安を感じている人、とにかく本校に興味がある人は、出願する前にぜひ本校の様子、授業の様子の見学に来てください。

学校見学は中学校の先生を通じて申込んでください。随時受け付けています。

期間は10月から2月の願書提出前までですが、定期考査期間と学校行事の多い12月は見学できない期間がありますので、なるべくお早めにご連絡・ご相談ください。お待ちしております。


TEL. 087-851-4144 (代)

定時制 2	香川県立高松商業高等学校（商業科）	
----------	-------------------	---

本校所在地	香川県高松市松島町1-18-54
サポート校(所在地)	なし
入学できる都道府県	香川県
服装・規定	制服なし、私服登校可

学習コースや特徴
<p>○令和元年度に70周年を迎えた本校定時制は、香川県の県立高校定時制唯一の商業科が設置されています。生徒一人ひとりの個に応じたわかりやすい少人数指導を行っています。生徒は簿記やビジネス文書検定等の各種資格検定取得に向けて挑戦しており、在校生には日商簿記検定2級に合格した生徒もいます。</p> <p>○在籍している生徒の多くは就職を希望していますが、過去には4年制大学へ進学した者もあり、幅広い進路選択が可能です。また、多くの在校生が学業とアルバイトを両立させており、アルバイトを通じて培った責任感、社会性、勤労への意欲等が就職・進学ともに大きく貢献しています。</p>

クラブ活動	イベント学校行事
卓球 バドミントン 商業実習	対面式、遠足、定通総体、クラスマッチ、全国定通体育大会、高商祭（文化祭）、生活体験発表大会、百人一首大会、予餞会、芸術鑑賞会、キャリアアップ研修、演劇ワークショップ等

募集要項				
募集人員	右記のURLでご確認ください	選考方法	右記のURLでご確認ください ださい	
出願期間	右記のURLでご確認ください			

学校のおススメポイント
<p>○国語や英語などの共通教科の学習を通して幅広い基礎学力の定着と向上を図るとともに、1年次より簿記やビジネス基礎などの商業科目の学習を通して、商業に関する専門性を高めていきます。</p> <p>○3、4年次の課題研究などの学習を通して、実社会で通用する資質能力の習得を図ります。</p>

在校生の声

○小中学校や高校の全日制課程と比べて定時制は少人数なので、生徒と先生との距離が近く、自分に興味関心に応じた授業や話をしてくれることから学習意欲が湧き、分からないことがあっても質問がしやすく、中学校の学習内容の学び直しにも対応してもらえる。また、他の学年とも交流を深めることができ、友達づくりが容易である。

○授業が17:30からなので日中の時間を自由に使える。アルバイトも可能なので、社会経験を通して社会人として必要な能力を身に付けることができる。

○商業に関する検定が取得できることなど、商業に関する専門性を高めることができ、将来に生かすことができると思われる。

卒業生の声

○生徒数が少なく、誰とでもすぐに仲良くなることができ、また先生との距離も近く、いつでも親身になって話を聞いてもらえる環境が自分にとっては最適であった。

○昼間のアルバイトを通して、社会性を高めることができたので、卒業後も戸惑うこともなく仕事に打ち込むことができた。学校とアルバイトとの両立は苦労もあったが、結果としては日々良い経験になっていたと思う。

保護者からの言葉

○先生方の熱心なご指導のおかげで無事卒業できたことに大変感謝しております。本人にとっても伝統ある高松商業を無事卒業できたことが自信と誇りにつながると思います。


○先生方もクラスメイトたちも、とても良くしてくれと感じています。

(※いずれも令和3年3月に卒業した生徒の保護者からのもの)

先生からの言葉

○香川県の県立高校定時制課程で唯一の商業科が設置されています。商業に関して強い興味・関心があり、商業に関する専門科目の特色を生かし、簿記をはじめとする高度な資格や技術・知識を身に付け、進路実現を目指したい者を求めています。


○修業年限は4年。始業は17:30、終業は20:55で、この間に4時間の授業を実施します。基本的な生活習慣が身につけており、学校や社会のルールを遵守するとともに、自己の可能性を広げ、進路実現を目指す明確な強い意志が必要です。

定時制 2	<h1>香川県立丸亀高等学校</h1>	
----------	---------------------	---

本校所在地	香川県丸亀市六番丁 1
サポート校(所在地)	なし
入学できる都道府県	香川県
服装・規定	制服なし・私服登校可

学習コースや特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 修制、秋入学、秋卒業などの柔軟なカリキュラムで、進学、就職のどちらにも対応した学びを実現します。 ・ 全ての教科において、基本的な知識及び技能の習得を大切にします。 ・ ICT を活用して、教科横断的、探究的な学習を積極的に取り入れます。 ・ 学校行事、生徒会活動、部活動を意欲的に行います。 ・ 地域の施設や産業界と連携して、実社会を意識したキャリア学習を行います。 ・ 学習の目的を明確にして、事後の振り返りを通して成長を実感できる学びを実現します。

クラブ活動	イベント学校行事
軟式野球、陸上競技、卓球、バドミントン	クラスマッチ、斯文祭（文化祭）、遠足など

募集要項				
募集人員	右記のURLでご確認ください	選考方法	右記のURLでご確認ください ださい	
出願期間	右記のURLでご確認ください			

学校のおススメポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員や専門スタッフによる生徒一人ひとりへの支援が充実しており、安心して学校生活をおくれます。 ・ 柔軟なカリキュラムの選択ができるため、3 年間での高校卒業が可能です。 ・ 落ち着いて学習に取り組める環境や伝統があり、四年制大学、短期大学、専門学校等への進学をめざせます。 ・ 社会が求める資質・能力を身につけて、自分の可能性を広げることで、積極的な進路選択ができます。

在校生の声

- ・授業はゆっくり丁寧に進めてくれるので、基礎的なことからじっくりと勉強できます。
- ・3年間での卒業をめざして、勉強を頑張っています。
- ・クラスマッチや遠足などの学校行事や部活動があるので、他の学年の人とも仲良くなって友達ができます。
- ・生徒会の活動で、学校行事の企画や運営をすることは、大変やりがいがあって、活動を通して少しずつ成長できていると思います。
- ・校外学習では、大学や企業を訪問して見学することができるので、自分の進路を具体的に考えるよい機会になっています。

卒業生の声


- ・受験の時期に先生方に支えていただいたので、第1志望の大学に合格することができました。
- ・親身になって相談にのってくれる先生が多いので、安心して学校生活を送れました。
- ・学校行事や部活動を通して友達ができただけで、非常に良い思い出になっています。
- ・放課後に仲間と部活動に取り組んで、全国大会に出場できたことは、大変嬉しかったです。

保護者からの言葉

- ・少人数のため、一人一人に丁寧な指導をしていただけるので、安心できます。
- ・アットホームな雰囲気なので、子どもは喜んで学校に通っています。
- ・学校のHPが更新されるので、学校の様子がよく分かります。

先生からの言葉


- ・社会が求める資質・能力を身につけて、地域社会に主体的に関わり貢献できる人材を育成します！
- ・本校定時制への入学を希望する方は、ぜひ、学校の見学にお越しください。
(丸亀高校tel：0877-23-5248)

定時制 2	<h1>香川県立多度津高等学校</h1>	
--------------	----------------------	---

本校所在地	香川県仲多度郡多度津町栄町1-1-82
サポート校(所在地)	なし
入学できる都道府県	香川県
服装・規定	端正で華美でないもの

学習コースや特徴
<p>○機械科…設計から製造に至る過程についての知識や技術を学習します。</p> <p>○電気科…発電や送配電などの電力分野と通信や制御などの電子分野の知識や技術を学習します。</p> <p>○機械科、電気科ともに共通教科の学習にも力を入れています。深い教養と高度な専門技能を兼ね備えた技術者の育成を目指しています。</p> <p>○資格取得に力を入れており、計算技術検定、パソコン利用技術検定、危険物取扱者、電気工事士などの学習に取り組んでいます。</p> <p>○資格取得希望者には、授業前や長期休業中などに個別指導を行っており、機械科の生徒で電気工事士の資格を取得する者もいます。</p>

クラブ活動	イベント学校行事
6月の定通総体前に、陸上競技、卓球、ソフトテニス、バドミンントンの各部活動を行っています。	学期ごとにスポーツレクを実施しています。また、新入生歓迎会、七夕会、観月会、予餞会などの季節ごとのイベントも実施しています。

募集要項				
募集人員	右記のURLでご確認ください	選考方法 右記のURLでご確認ください	右記のURLでご確認ください	
出願期間	右記のURLでご確認ください			

学校のおススメポイント
<p>定時制棟（定時制専用校舎）のことを「竹の子館」と呼んでいます。定時制の生徒全員が同じフロアで一日を過ごします。穏やかでアットホームな雰囲気の中で、学習をすることができます。また、全日制と共用している実習室もあり、最新の設備を使った授業も行われています。</p>

在校生の声

- 生徒も先生方も明るく楽しい人が集まっています。先生方との距離が近く、資格試験の学習を親身になって教えて下さいます。
- 同じ趣味を持つ友達と切磋琢磨して資格をたくさん取るために学校に通っています。仕事と勉強の両立は大変だけど、頑張って毎日登校するのは楽しいです。
- 中学生の時、たくさんの人と一緒に勉強することが苦手でした。しかし、今は少人数の授業ばかりなので、落ち着いて勉強することができています。
- 夕方まで仕事をして、それから登校し、夜勉強することは簡単なことではありません。それでも、毎日学校に来てしまう魅力が多高定時制にはあります。

卒業生の声


- 分からないことを、分からないと言える雰囲気があります。分からないところは、分かるようになるまで、マンツーマンで教えてもらえます。
- 優しい先生方に恵まれ、たくさんの資格を取ることができました。学年に関係なく協力して部活動に取り組み、全国定通総体にも2度出場しました。
- 電気科の卒業生は3年の実務経験を積むことで、第3種電気主任技術者の資格を得ることができます。この認定を受けているのは四国の定時制では多高だけです。

保護者からの言葉

- 兄妹がお世話になっています。先生方に恵まれ兄は専門的な技能を身につけて卒業することができました。妹は兄から様々なことを教わりながら楽しそうに学校に通っています。

先生からの言葉


多度津高校定時制は、「全教職員で生徒1人1人に関わる」をモットーにしています。日々の授業や資格取得、進路の決定など4年間様々な場面で親身になって指導しています。少人数での学びを通して、知識・技能を身につけていきませんか？仕事をしながら学校に通うことは決して簡単なことではありませんが、先輩も先生方も全力でサポートします。「百聞は一見にしかず」、興味のある方は一度見学に来て下さい。お待ちしております。

定時制 2	香川県立観音寺第一高等学校	
----------	---------------	---

本校所在地	香川県観音寺市茂木町4-2-38
サポート校(所在地)	なし
入学できる都道府県	※香川県公立学校入学者選抜実施細目による
服装・規定	特に服装の規定はありません

学習コースや特徴
<p>本校定時制課程は、普通科（単位制，修業年限4年）のみの1学科，各年次1クラス（計4クラス）です。現在1～4年次生合計で40名の生徒が学んでいます。</p> <p>授業は17:35に始まり，20:50に終わります。月曜日から金曜日まで毎日4時間授業です。ゆとりのある授業を行います，卒業までに4年かかるので，学習への意欲，意志の強さ，健康の維持・増進の3つが大切です。</p> <p>卒業後は，大学や専門学校への進学や企業等への就職など，自分に合った幅広い進路を選択しています。（令和2年度卒業生(12名)の進路先：大学1名，短大2名，専門学校3名，就職等6名）</p>

クラブ活動	イベント学校行事
陸上部，卓球部，バドミントン部，文化部	1年生オリエンテーション（4月） 県定通総体（6月），全国定通総体（8月） 観一祭（9月），生活体験発表大会県予選会（10月） 校外学習（遠足，6月・11月） など

募集要項				
募集人員	※県の規定による(11月発表)	選考方法	※香川県公立学校 入学者選抜実施 細目による	
出願期間	※香川県公立学校入学者選抜実施細目による			

学校のおススメポイント
<p>定時制は生徒数が比較的少ないため，家族的雰囲気にあふれています。</p> <p>仕事をしている人ばかりではありませんが，お互いに仲間として支え合い，穏やかな雰囲気の中で意欲的に学んでいます。</p>

在校生の声

- ・みんなとしゃべれるようになった。
- ・45分4時間授業なので、元不登校の自分も無理なく通える。
- ・体や心が辛い時に休めるから、学校が行きやすい。
- ・服装や見た目が自由なところがいい。
- ・先生が皆、仕事の事、自身の事、家庭の事など色々な事に理解がある。
- ・先生と生徒の距離が近くて通いやすいです。
- ・クラスが明るくて、授業を受けるのが楽しい。
- ・とにかくアットホーム。少人数ゆえ生徒一人ひとりの距離が近く楽しい。


卒業生の声

保護者からの言葉

先生からの言葉

本校定時制課程は、社会で「自立」するために必要な学ぶ意欲や主体的判断力など確かな学力を持った生徒、「自律」に必要なマナーやルールを身につけ地域社会や職場から信頼される生徒、相手の立場に立って考え理解し支え合うことのできる「共助」の気持ちを持った生徒を育成することを目標にしています。


私達は、学習への意欲があり、新しいことにチャレンジしたいと考えている人を応援しています。定時制への入学を検討している人は、連絡した上で、一度見学に来られることをおすすめします。

通信制 3	香川県立高松高等学校	
----------	------------	---

本校所在地	香川県高松市番町3-1-1
サポート校(所在地)	なし
入学できる都道府県	香川県
服装・規定	制服等の指定なし
スクーリング場所	本校
スクーリング期間	

学習コースや特徴
<p>○通信制課程は、全日制、定時制と同じ高校卒業資格が取得できます。</p> <p>○自学自習が学習の基本です。</p> <p>○月に2～3回、日曜日に登校して面接指導(スクーリング)や特別活動に出席します。</p> <p>○家庭学習によりレポート課題を提出し、授業でさらに学習を進めます。</p> <p>○仕事や健康上の理由等で毎日学校に通うことができない人にも対応しています。</p>

クラブ活動	イベント学校行事
○部活動はありませんが、希望者は県高校定通総体に出場します。	<p>○つどい(新入生歓迎行事) (5月)</p> <p>○文化祭(9月)</p> <p>○体育祭、生活体験発表会(10月)</p> <p>○遠足(11月)</p>

募集要項				
募集人員	全体の定員500名 (R3年度)	選考方法	作文、面接	
出願期間	R4/3/1～12 R4/3/14～18			

学校のおススメポイント
<p>○学習会(水曜日・金曜日)ではレポート作成のアドバイスが受けられます。また、進学希望者向けの英語、数学の対策講座を開講しています。</p> <p>○ジョブサポートティーチャーによる個別進路指導が充実しています。</p> <p>○キャリア倶楽部では漢字検定などの資格取得を推進しています。</p>

在校生の声

私は通信制高校に通えて良かったと思っています。スクーリングでは、一人では分からなかった所を教えてもらったり、休憩時には友達と話をしたり、とても楽しく充実した学校生活を送っています。自宅学習では、自分のペースでレポートや自主勉強ができていたので、とても自分に合っていたと思います。今年は頑張りたいと思っていた勉強を積極的に取り組むことができたので、これからも目標を持ち学校に通っていきたいです。

卒業生の声

私は生徒会に所属し司会や行事の運営をしました。また、定通総体の卓球では全国大会に出場したり、香川県定時制通信制生活体験作文発表大会では優秀賞を受賞したりするなど自分の好きなことや得意な事を発揮できる機会に恵まれ、周りの方々の支えもあり4年間頑張ることができました。今、取り組んでいる子ども食堂も、人との関わり、考えの視野という部分において学校生活で学んだり感じたりしたことが生きていて感じているので、この学校に入学して本当に良かったと思います。


保護者からの言葉

高校中退から高松高校通信制でお世話になった娘は現在、高松市内で子ども食堂の代表として活動しています。学校では心通う先生方のご指導により様々な成功体験から人に関わる勇気と気づきが芽生え、自己の考えで行動することが心の豊かさにつながることを体現できた、貴重な高校生活だったと考えています。

先生からの言葉

通信制では、さまざまな人たちが自分に合った方法で学習を続けており、基礎学力の定着はもちろん、進学や就職など幅広い目標に向けた取組みができます。また、学校行事で行う体験活動を通して、主体性や対話力の向上をはかることができます。その他、通信教育について、わからないことや詳しく知りたいことがあれば、学校に問い合わせてください。


(高松高校通信制 直通 087-831-7244)

通信制 3	香川県立丸亀高等学校	
----------	------------	---

本校所在地	香川県丸亀市六番丁1
サポート校(所在地)	なし
入学できる都道府県	香川県
服装・規定	制服なし・私服登校可
スクーリング場所	本校
スクーリング期間	

学習コースや特徴
単位制と修業年限の弾力化 <ul style="list-style-type: none"> ●必修科目を含め74単位以上を修得し、特別活動の出席の必要条件を充たせば卒業できます。 ●単位制カリキュラムにより、3年での卒業が可能です。

クラブ活動	イベント学校行事
クラブ活動としては活動していませんが、定時制通信制総合体育大会に多くの生徒が出場しています。	新入生歓迎行事、生活体験発表大会、遠足・研修旅行、レク大会など

募集要項				
募集人員	右記のURLでご確認ください	選考方法	右記のURLでご確認ください ださい	
出願期間	右記のURLでご確認ください			

学校のおススメポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活リズムに合わせた学習ができます。 3年で卒業を目指すのもよし、ゆっくり時間をかけて卒業するのもよし。 ・多くの学校行事があり、通信制といえども仲間をつくることもできます。 ・四年制大学、短期大学、専門学校等への進学をめざせます。就職を希望する生徒にもサポートを行います。

在校生の声

- ・自分の時間に合わせてレポートを作成することが、計画的にできるようになりました。
- ・がんばって3年間で卒業しようと考えています。
- ・前の学校とは違う生活にはじめは戸惑ったけど、友達や先生、生徒会役員の人たちが優しくて、今では学校に行くのが楽しみです。
- ・週1回の登校だが、行事や授業をとおして年齢や生活環境の違う人たちと交流を持つことができた。

卒業生の声

- ・社会福祉士になりたいという夢を実現するために希望の大学へ進学することができた。
- ・先生方の助言をもらいながら自分の就職先を決めることができました。
- ・仕事、母親、通信制の生徒の3役をこなすのは大変だったけど、やりきることができました。

保護者からの言葉

- ・公開授業で訪れた時の印象は、皆さん落ち着いた雰囲気の中で授業を受けているなということです。
- ・少し時間がかかりましたが、無事卒業し次のステップを踏み出してくれてよかったです。

先生からの言葉

さまざまな人が、さまざまな考えで、さまざまな生活リズムの中で学んでいます。
自分に合った学び方を見つけたい人は一度見学に来てください。

- ・本校通信制への見学・入学を希望する方は、下記に連絡をください。

丸亀高校通信制 直通 0877-23-6003

通信制
1, 4

私立 穴吹学園高等学校



本校所在地	香川県高松市番町2-4-14
サポート校(所在地)	なし
入学できる都道府県	香川県・愛媛県・徳島県・高知県・岡山県・広島県・山口県・兵庫県・大阪府
服装・規定	制服があります。校則もあります。
スクーリング場所	穴吹学園高等学校
スクーリング期間	登校型（週5日登校型、フレックス型）により異なります。

学習コースや特徴

2つの登校型から選択できます。どの登校型にも担任の先生がいます。希望により登校型の変更は可能です。

【週5日登校型】・・・毎日通える場所があり、学習をサポートしてもらえる先生がいるので安心して学べます。

◆**プロコース**…プロの先生や穴吹学園の専門学校の先生から学びます

- ・動物コース …動物とのふれあいから学べる
- ・デザインコース …人の心を動かすデザインについて学べる
- ・ITメディアコース …IT業界の現役プロから学べる
- ・パティシエコース …**[新設]**人を笑顔にするお菓子づくりを学べる

◆**進学総合コース**…自分だけの学習計画で進路目標の実現をめざします

◆**大学進学コース**…効果的なサポートで難関大学等の合格をめざします

【フレックス型】・・・月1回程度登校します。一人一台タブレットを使い、時間や場所にしばられずに学べます。

手厚いサポートで高校卒業をめざす

自分がやりたいことができる（やりたい勉強、海外留学、スポーツや芸術文化活動など）



一人一台タブレット

英会話授業

クラブ活動	イベント学校行事
(設置を検討中)	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式、卒業式 ・校外学習（フィールドワーク・遠足など）、修学旅行 ・スポーツ活動、国際交流、職業体験 ・地域活動（ボランティア活動など） など



この花は入学式に新入生がつけたものです

募集要項（令和4年度新入生の場合） * 転入や編入の場合は、お問い合わせください。

募集人員	80名	選考方法	書類選考と面接に加えて、受験のタイプにより課題作文又は学力試験（国語もしくは国語・英語・数学）があります。
出願期間	入試は4回（1月から3月）あり、出願期間が異なります。		

学校のおススメポイント

卒業後の進路実現を大切にしています。 そのために、穴吹学園全体で応援していきます。

大学進学コースや進学総合コースなどの難関大学等をはじめとする大学進学希望者には、対面授業や一人一台タブレット等を効果的に活用した指導に加えて、穴吹進学ゼミナールと連携してサポートします。学園内の専門学校や専門職短期大学への進学希望者は、「内部進学制度」が利用できます。就職希望者には、豊富なノウハウを持つ穴吹学園の就職専門のスタッフが手厚く支援します。

在校生の声

- ・先生の話や憧れの大学のオープンキャンパスに参加することで、自分のやりたい分野が定まってきました。今は、苦手分野の数学と英語を中心に勉強を進めています。時々、勉強することがしんどくなることもありますが、一緒に頑張っている仲間がいるので、再び頑張ろうと思えます。
- ・体調がすぐれない時がありますが、柔軟に対応してもらえるので通学しやすいです。
- ・中学校時代は教室に入れませんでした。友達ができ、毎日楽しく通っています。
- ・大人数の授業が苦手です。現在のクラスは中学校よりも人数が少ないので通いやすいです。
- ・フレックス型で勉強しています。美大進学を目指しているので、スクーリング以外の日は絵の勉強に時間を使うことができ、毎日充実しています。

卒業生の声

令和3(2021)年4月開校のため、令和3(2021)年9月現在では卒業生はいません。

保護者からの言葉

- ・中学校ではほとんど教室に入れませんでした。高校生になり環境が変わったことが良かったのか、毎日登校できるようになりました。この変化に親子ともども大変喜んでます。
- ・大学進学コースでは、志望校に合わせて先生方が丁寧にアドバイスをしていただけるため、安心してお任せしています。
- ・高校生の時から動物について学べるので、子どもは充実感があるようです。動物実習の日を楽しみにしているようです。
- ・養護教諭の先生やスクールカウンセラーの先生に相談できるので非常に安心です。

【週5日登校型】

【フレックス型】



先生からの言葉

- ・「**県内の高校**」の強みを活かした手厚い指導とネットを使った新しい学びを実感できます。
(香川県内の高等学校です。学校教育法第1条に定められた高等学校です。)
- ・柔軟な学びができる通信制の仕組みを使い、3つの「新しい学びのカたち」にチャレンジ。
 - ①ネット学習でチャレンジ…一人一台タブレットで考える基礎となる学力をつけます。
 - ②グローバルにチャレンジ…英会話力などを伸ばし世界を知り多様性を学びます。
 - ③社会のリアルにチャレンジ…社会や職業等の体験や課題解決の探究方法を学びます。
- ・養護教諭やスクールカウンセラーの先生などいるため、高校生活を心身ともに丁寧にケアしていくことができます。登校時間も全日制高校と比べて余裕があります。
- ・穴吹学園高等学校の学びの主役は生徒の皆さん一人ひとりです。ともに未来の学校づくりにチャレンジしてみませんか。

通信制
1, 4



私立 村上学園高等学校



本校所在地	香川県丸亀市幸町1-10-16
分校(所在地)	香川県高松市亀井町8-10 亀井町ビル
入学できる都道府県	香川県・岡山県 他
服装・規定	登校時は指定の制服着用
スクーリング場所	丸亀校・高松校とも上記所在地にて実施
スクーリング期間	卒業まで3年以上（通信教育コース通学コース 共通）

学習コースや特徴

①通信教育コース （週1日程度通学）	……	通学が不安な人は週1日集中授業で卒業を目指します。 担任制・少人数指導・個別指導で丁寧に対応します。
②通学コース 週4日通学(高松) 週5日通学(丸亀)	……	教科学習に加えて一人ひとりの個性や社会性を育てるカリキュラム で進学や就職を目指します。
③大学進学コース 週5日通学(高松)	……	高予備での指導経験のある教員も授業を担当します。授業と個別指 導で国公立・有名私大を目指します。



校外学習（四国水族館）



修学旅行（豊洲市場）



文化祭(軽音楽部)



職場体験

クラブ活動	イベント学校行事
軽音楽・卓球 華道・パソコン	体育祭・文化祭・校外学習・芸術鑑賞会 修学旅行・球技大会・健脚大会・ 専門学校出前授業・仕事体験(インターンシップ)

募集要項

募集人員	100名	選考方法	筆記・個人面接
出願期間	随時(お問い合わせ下さい)		

学校のおススメポイント

1. 少人数で学べる。（1クラス数名～20名）
2. 社会性やコミュニケーション能力を高めるプログラムが準備されている。（地域ボランティア・SDGs活動, 村上太鼓, 合気道, 華道, 調理実習）
3. 基礎力向上のために学習習慣や集中力などを身につける学習ツールがある。
4. 資格検定が豊富。（英語検定, 漢字検定, 毛筆検定, 硬筆検定, PC検定, 簿記検定）
5. 通学日数を選べる4コースがある。

在校生の声

【自分が大きく成長できる学校】週5日通学コース

あまり登校できていない私が、高校進学後に毎日登校することに不安がありました。そこで週1日登校コースならと思進学することに決めました。2年に進級する頃、1年間欠席がなかったので、先生が通学（週5登校）コースを勧めてくださいました。最初はクラスに馴染めるか不安でしたが、先輩やクラスみんなが優しく声をかけてくれて、不安な気持ちは次第に消えていきました。その後、先輩が生徒会に誘ってくださったことがきっかけで、生徒会役員に立候補しました。今は生徒会長として、あいさつ運動や交通ボランティアなどに参加し、日々頑張っています。文化祭などの学校行事を通し、友達とのきずなも深まりました。今では、楽しく高校生活を送ることができています。これからも進学目標に向けて頑張ります。

卒業生の声

【高校時代の思い出】 徳島文理大学 文学部在学

村上学園では、少人数クラス、静かな落ち着いた授業環境、先生方との距離が近くて相談しやすい。思い出は、3年間出場した花いけバトルで、3年生の時優勝したことです。今、学芸員を目指し、充実した大学生活を送っています。皆さんも、高校3年間のうちに夢や目標を見つけ、それに向かって頑張ってください。



保護者からの言葉

【コミュニケーション能力と周りへの配慮が少しだけ身についた】

子どもは週5日通学コースに在籍していたのですが、いやな顔もせずほぼ毎日登校していたので同級生や先生方ともうまくいっていると確信しました。

【「5年間通わせて下さい」と言ってしまうほどの学校】

高校卒業を見届けてほっとしているところです。少人数、落ち着いた環境の中、悩みにも先生がすぐに対応していただけて感謝しています。思わず「5年間通わせて下さい」と言ってしまうほどでした。この学校に入学して卒業できて本当に良かったです。

先生からの言葉

①村上学園高校を知っていただくため、**オープンスクール**を計画しています。

日程は下記のとおりです。ぜひ参加ください。詳細はホームページにてご確認ください。
高松…11月20日（土）12月11日（土）／丸亀…11月6日（土）


②**学校見学や個別相談**もできます。お電話かホームページからお申込みください。

☎高松校：087-833-4777

☎丸亀校：0877-43-4777

E-mail info@murakami-gakuen.com

URL <http://murakami-gakuen.com>

通信制 1, 4	私立 RITA学園高等学校	
-------------	---------------	---

本校所在地	香川県仲多度郡多度津町西浜12-44
サポート校(所在地)	神戸、奈良、和歌山
入学できる都道府県	全国47都道府県
服装・規定	登校型は制服あり 家庭型は特に定めない
スクーリング場所	本校、高松（2023開設予定）、大阪府、奈良県
スクーリング期間	家庭型のみ実施。夏季および冬季集中スクーリング 5日間ずつ

学習コースや特徴
<p>【学校の特長】令和3年4月より学校名を「禅林学園高等学校」から「RITA学園高等学校」に変更し、新たに再スタートしました。本校の大きな特徴は多くの企業や大学から応援サポートをいただき、経営者の方や大学教授の外部講師による授業を展開しています。（応援企業：徳武産業(株)、あかり税理士法人、四国計測工業(株)等、外部講師：京都大学教育学部 斉藤先生、秋山先生、立命館大学稲盛経営哲学研究センター石田先生など）生徒の夢の実現を応援する学校です。</p> <p>【登校スタイル】通学する登校型（週3日、週5日）と自宅学習の家庭型（日曜日に月2～3回、半期5日短期集中）があります。</p> <p>【学習コース】①修身コース（少林寺拳法を正課とします）、②創造コース（創作活動を学ぶことで自分を表現します）、③学修コース（学び直しから始め、基礎から発展まで幅広く学習し進学を目標とします）④総合コース（4年間でゆっくり学びます）の4つのコースがあります。</p>

クラブ活動	イベント学校行事
少林寺拳法部 茶道部	RITA祭（文化祭）、町歩き会、ボランティア活動、 講演会（外部講師例：企業経営者・プロボクサー・プロスポーツ選手等）等

募集要項			
募集人員	100人	選考方法	登校型（基礎学力・作文・面接）
出願期間	R3/12/14～R4/4/14		家庭型（書類選考）

学校のおススメポイント
<p>①少人数クラス（クアトロ上限6名、マイスタイル上限10名、ステップアップ上限20名）による編成で、きめ細かいサポートができます。②オンライン授業やeラーニングを展開しています。③資格取得のための学習や様々な検定に挑戦できます。④外部講師による講演会から見識者の考えや生き方に触れることができます。⑤香川県の認可された高校です、入学金などの免除、就学支援金、本校奨学金制度があります。⑥教員の多くが教科とは別に特別支援免許の資格を持っています。⑦随時、個別のオンライン説明会を開いております。</p>

在校生の声

- ・先生が皆優しく個別で対応してくれるため、分からないところもしっかりと学ぶことができます。
- ・授業が分かりやすく、日頃は自宅で学習していて分からないところがあっても電話やオンラインで丁寧に教えてもらえるので助かります。
- ・特別授業（町歩き、インターンシップ、ボランティア活動等）があり、いろいろな経験ができることも、とても大きな魅力です。
- ・不登校でしたが、友達ができて、学校が楽しくなりました。
- ・定期的に行われる外部の先生方講演会は、面白くて、自分の将来のあり方について考えることができます。
- ・中学では経験できなかったいろいろな行事（肝試し大会、利他探し、夢プロジェクト）があって学校が楽しいです。

卒業生の声

私は過去に他の県立高校へ通っていましたが、いろいろとあり退学しました。しかし、やはり高校卒業資格は必要だと思い、RITA学園高等学校に編入学しました。入学して思ったことは、一人ひとりに合わせた指導をしてくれるということです。先生方は勉強だけでなく、進路や卒業後の生活についても一緒に考えて考え、アドバイスをしてくれました。自分を見てもらえているという安心感のもと、自分のペースでしっかりと学ぶことができました。RITA学園で学んだ相手の幸せを考えるという利他育の教えを、社会でも活かして頑張りたいです。

保護者からの言葉

私の息子は中学時代不登校でした。人間関係や勉強に躓いてしまった子どもを迎え入れてくれる学校はないかと色々探していたところ、担任の先生から「今年新しく開校する、少人数制授業が売りの学校がある」と、RITA学園高等学校を紹介されました。藁にもすがる思いで、嫌がる息子を連れて学校見学に向かうことを決めました。基礎から学びなおせるということ、他人を思いやる心の教育を行っていくということ、何より、「過去は関係ない、今の君たちの可能性を信じたい」という先生の言葉に励まされた息子は、自分から「ここに入学したい」と私に言いました。「無事に通ってくれるだろうか」「また、不登校になったどうしよう」と、最初は不安でたまりませんでした。しかし、入学から半年ほどたっても、息子は一度も「学校を休みたい」と言いません。それどころか、毎日笑顔で「今日はこんなことがあった」と学校の話をしてくれるのです。人嫌いで勉強嫌いだった息子を変えてくれたRITA学園には、本当に感謝しています。

先生からの言葉

本校の校名である、RITAは「利他」からつけたものです。

「利他」とは、他者の幸福を願うことです。しかし、これは「利己」という自分の利益か「利他」という他人の利益のどちらかを選ばなければならないという二者択一のものではありません。他人の幸福を願う、人を助けるということと自分のために行動すること、この二つは密接に絡み合っています。つまり、他者の役に立てばたつほど、私たちの幸福感は大きくなっていきます。そして自分が幸せになればなるほど、さらに他の人のためにも何かをしたい、社会のために貢献したいと思うようになるのです。RITA学園高等学校で「利他の心」を学び、幸せな人生への一歩を一緒に踏み出しましょう！

通信制 8,(R4/4~)7	私立 N高等学校／S高等学校	
-------------------	----------------	---

本校所在地	N高：沖縄県うるま市 S高：茨城県つくば市
サポート校(所在地)	通学コース高松キャンパス（N高・S高共通） ※通学希望者のみ
入学できる都道府県	47都道府県
服装・規定	自由。任意購入の制服あり。
スクーリング場所	大阪・広島・福岡など。二年次は各本校にて。
スクーリング期間	前期2～3日間、後期2～3日間（どちらかはオンライン受講可能）

学習コースや特徴
<p>N高／S高では高校卒業資格を得ることはもちろん、ネットとVRを使った新しい学習環境で、優秀な講師から、さまざまなジャンルの講義を無料で学ぶことができます。講座は全部で180種類以上ありますが、中でもプログラミング・Webデザイン・大学受験講座・クリエイティブ系講座が人気です。</p> <p>また、職業体験やワークショップを通じて、社会に出たときに役立つスキルを身につけることもできます。</p> <p>オプションとして『通学コース』があり、2022年4月に四国初となる高松キャンパスを開校。アクティブラーニングが中心となるコースで、プロジェクト学習や映像学習を進めています。</p>

クラブ活動	イベント学校行事
ネットを駆使した部活動 eスポーツ部、美術部、投資部、起業部、政治部、ダンス部、クイズ研究会など ・各界のプロが特別顧問になっています。	・ネット上での文化祭・遠足・運動会 ・キャンパスフェスティバル（通学コース）など

募集要項			
募集人員	ネットコース：学年ごとの制限なし 通学コース：高松キャンパス100名	選考方法	ネットコース：書類選考のみ 通学コース：上記に加えて、課題作文と面接
出願期間	R3/9/27～R4/2/14		

学校のおススメポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・VRを教材として本格導入。最先端の学びができ、コミュニケーション力も身につけられる。 ・学内限定のSNS『Slack』で仲間を探せる、友人の輪が広がる。 ・ICT ツールを活用し、コミュニケーションスキルやグループワークが学べる『オンライン通学コース』を今年度より開設。

在校生の声

プログラミングや、部活での学び全てを将来の糧にしたい (Sさん)

Q.ネットの高校に決めた理由は？

A.場所を問わず学べるのが大きな理由です。また、これからの社会ではICTスキルが重要だと感じ、プログラミングを学びたいと思いました。

Q.今、熱中していることは？

A.プログラミングです。最近まで投資部の活動に集中していたので、まだ入口に立ったところ。企業におけるプログラミングの役割なども考えながら学んでいきたいです。

卒業生の声


私は高校一年生の時に持病が悪化し通っていた全日制を退学し、N高に編入学しました。体調が悪い日は一日布団にいる日も多かったのですが、そんな状況でも自分のペースで勉強ができるところが非常によかったです。自分で授業映像を見てレポートを提出する形なので、自己管理が大変なところはありますが、私は三年間通ったことで計画性と目標に向かって走りぬく力を身につけることができました。また、年に一週間ほどあるスクーリングでは、さまざまな地域の方や年齢が異なる方と関わり友達になることができます。さまざまな人と関わることで、いろいろな意見を取り入れることもできるようになりました。通信制なりのいいところが沢山あるので、是非一つの選択肢として考えてみてください。(令和2年3月卒業)

保護者からの言葉

N高に通うことによって自主性が身につきました。スクーリング参加はたいへんそうでしたが、全日制では経験できないことを学び、プラス知識も増えたと感じています。

先生からの言葉

この学校の目標は、みなさんが社会的に「自律」できる人になってもらうことです。「自分は自分以外の誰でもない」という自信を持つことができればいいんです。本校で自分の好きなことを思いっきりやってみてください。私たちは、あなたの居場所になるかもしれない体験活動や情報を得る機会をどんどん用意します。一緒にあなたの道を見つけていきましょう。(N高校長 奥平博一)

通信制 8	私立 NHK学園高等学校	
----------	--------------	---

本校所在地	東京都国立市富士見台2-36-2
サポート校(所在地)	サポート校への入学は必要ありません。
入学できる都道府県	全国
服装・規定	学則はありません。
スクーリング場所	県立岡山操山協力校（岡山県岡山市中区浜412）
スクーリング期間	月1～2回、または年1回3～4日間広島で実施。

学習コースや特徴	
<p>スタンダードコース、ライフデザインコースを設置。いずれのコースも「NHK高校講座」の視聴とNHK学園オリジナルのネット学習システムによる自宅学習を中心に学びます。担任を中心に、教科担当やスクーリング会場ごとの担当のほか、総合教育相談センターの心理・福祉の専門資格を持つ教職員も含めたチームで学習をサポートします。</p>	
<p>●スタンダードコース</p> <p>最寄りの協力校（スクーリング会場）への月1～2回の登校が基本。毎月の登校が難しい場合は、年1回基本3～4日間の集中スクーリングに参加します。集中スクーリングは国立江田島青少年交流の家（広島県江田島市）で行っています。</p>	
<p>●ライフデザインコース</p> <p>不登校経験者を対象とした文部科学省指定の特別カリキュラムで学び、社会で生きる力を育みます。1年次は年間2～4回のスクーリング参加から、徐々にスクーリング日数を増やしていきます。</p>	

クラブ活動	イベント学校行事
校外活動（遠足・見学・レクリエーションなど）も充実しています。	岡山操山協力校…ハイキング・芸術鑑賞・文化祭等 啓明学院協力校…遠足、球技大会

募集要項			
募集人員	全国で3000人		
出願期間	新入学（推薦）1/15～1/24 新入学（一般）・編入学1/25～4/30 新入学（後期）・編入学8/1～9/30 転入学 3/1～12/10随時	選考方法	書類選考 面接

学校のおススメポイント
<p>基礎学力と社会で生きていくための力を身につけることを重視しています。20年にわたるネット学習の経験を生かした独自開発のネット学習システムは使いやすいと評判です。担任を中心としたチームサポートとネット学習システムで卒業後につながる指導をします。多様な進路に対応した進路指導で3年間で卒業後の夢や目標を見つけ実現するためのサポートにも力を入れています。</p>

在校生の声

NHK学園に入ってから自由な時間が増え、以前のように課題に追われる焦りがなくなりました。登校日が少ない分、担任の先生に会う機会は少ないのですが、分からないことがあれば電話やメールですぐに教えてもらうことができ安心です。NHK学園には、友達を作らないといけないというような学校独特の雰囲気がなく、それぞれに合った人間関係を作って学校生活を送ることができます。私は一つひとつのことにていねいに向き合い、学校と学校外のことを両立しながら、関心や視野を広げることができました。社会問題を知り、自由な時間に多くの映画や音楽を鑑賞したことが今の進路の選択につながりました。（スタンダードコース）
※その他、生徒の声は<https://www.n-gaku.jp/sch/life/voice/>に掲載しています。

卒業生の声

集中スクーリングと定期テスト以外は登校日がなく、自分のペースで勉強したいときにレポートに取り組めるので「集中コース」を選びました。N学なら自分の夢のために努力することを頑張れると感じたのです。レポートは教科書や学習など放送を見て理解して提出していくので最初は戸惑いもありましたが、各教科の先生に分からないところは気軽に質問できるので心配いりません。また定期テストも範囲内のレポートを復習しておけば大丈夫です。集中スクーリングも最初は知り合いがいなくて不安でしたが、誰かと一緒に勉強したり、レクリエーションを通じて他学年の人と交流できたりして楽しい時間を過ごすことができました。


保護者からの言葉

・娘は幼い時から感受性が強く、中学の頃から集団の中で居心地の悪さを感じるようになり、高校に通えない日が続きました。「次はマイペースで学べる通信制」と決めて他校も検討しましたが、学費が高かったり、登校が頻繁だったり、宿泊を伴うなど、希望に合いませんでした。NHK学園は登校の負担が少ないので欠席せずに通えています。学校や好きなことを通じたコミュニティなど、ありのままを受け入れてもらえる居場所ができ、明るくなりました。

・転入学先を探した結果、娘のペースで学べると感じたNHK学園に2年生で転入学。入学した年の7月の三者面談では、担任の先生が親の見抜けないところまで娘のことを把握してくれているのを感じ、安心してお任せできると確信しました。明るく気さくな先生で、「こうしたらいいよ」とアドバイスしてくれるので、娘も本当に頼りにしています。途中からの入学で、本人も最初は構えていましたが、今は一緒に過ごせる仲の良い友達もでき、意欲的に学んでいます。

先生からの言葉

多様な立場、考え方、生き方を認めることが必要な時代になりました。NHK学園にもいろいろな環境で育ち、学習する生徒がいます。そういう意味では、同じような制服を着て同じような年代の生徒が同じようなことを考えて生活している全日制の生徒よりも、自由な発想、自由な考え方を持っているNHK学園の生徒は、話をしても面白く感じます。もちろん卒業後の進路もいろいろです。「学校」というものに対するイメージを取っ払って、全く新しいところに行くんだ、という気持ちでNHK学園にお越しただけであればいいな、と思います。皆さんとお会いできるのを楽しみにしております。

通信制 8	私立 クラーク記念国際高等学校 広島キャンパス	
----------	----------------------------	---

本校所在地	北海道深川市納内町3-2-40
サポート校(所在地)	
入学できる都道府県	全国
服装・規定	スマートスタディは制服なし
スクーリング場所	広島県広島市中区西白島町7-27
スクーリング期間	前期：7月12日～20日／後期：12月7日～24日 ※2021年度実績・予定

学習コースや特徴	
<p>・スマートスタディⅢ【週最大30コマ（オンライン+通学）選択】 スマートスタディⅡの内容に加え、特化した教育を受ける事ができます。「プログラミング」「グローバル」「特別進学」のコンテンツから選択することができ、「プログラミング」では、デジタルハリウッドアカデミーの本格的なプログラミングの授業を受講でき、「グローバル」では、オンライン英会話を毎日受講できます。また、「特別進学」では、系列予備校のリアルタイムオンライン授業を受講する事が出来ます。</p>	
<p>・スマートスタディⅡ【週最大15コマ（オンライン+通学）選択】 自分のペースで学ぶことが出来るEdTech教材が活用でき、定期的にコーチング面談を受ける事が出来るため、一人ひとりの目標に合わせて学ぶことが出来ます。また、非認知能力を伸ばすプロジェクト型の学習やeスポーツ実践などの授業も選ぶことが出来ます。</p>	
<p>・スマートスタディⅠ【週最大6コマ（オンライン+通学）選択】 高校卒業資格取得を目指すコースです。自分のペースで卒業を目指すことが出来ます。</p>	

クラブ活動	イベント学校行事
eスポーツ部	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式／卒業式 ・eスポーツ大会 ・学習成果発表会 など

募集要項			
募集人員	新入生：20名 転入生：若干名	選考方法	作文試験（事前提出） 学力試験（英語・数学・国語） 個別面接試験（保護者同伴）
出願期間	詳細は募集要項をご覧ください		

学校のおススメポイント
<p>スマートスタディコースはⅢ～Ⅰから選ぶことができ、既存の学習方法にしばられず、一人ひとりに最適な環境・方法で学習を進める事ができるコースです。夢や目標に向かって自分のペースで前進することが可能です。</p> <p>※スクーリング(面接指導)・定期テスト以外を全てオンラインにすることも可能です。</p> <p>※スクーリング・テストは全て広島キャンパスで実施いたします。</p> <p>※総合進学コース（週5日登校・制服着用）のコースもございます。</p>

在校生の声



木村右京さん
SMART千葉3年生
SMART STUDY II 在籍

クラーク国際を選んだ理由

前籍校では様々な活動や環境に対するストレスを感じ疲れてしまい、学校に行くモチベーションが保てなくなっていました。個別相談で説明を受け、WEB学習やPBLなどの活動に惹かれました。また選択できるコースが多く、自分がやりたいことを見つけられるかとも思い、入学を決めました。

CLARK SMART (スマートスタディコース) の魅力

このコースなら、自分のペースで無理することなく生活ができ、自分にとってやるべきことに有意義に時間が使うことができると思いました。良くも悪くも自分次第でなんでも決められること。PBLや授業もあまり気負わずにストレスが少なく生活できること。この2つが大きな魅力でしょうか。

卒業生の声



立命館大学 経営学部 国際経営学科
岸田 侑友さん
SMART京都 2020年度卒

コーチング担任の先生のアプローチが自分の姿勢を変えてくれた。

私は元々全日制高校に通っていましたが、学習スタイルが合わず進路に向けた時間を有効に使いたいと考えて転校を決意しました。クラーク国際では、コーチング担任の先生との面談機会が数多くあり、自分に合った様々なアプローチをしてもらえたので、学習を進める姿勢が身に付きました。全日制ではできなかった、自分に合った柔軟な学習スタイルがあったからこそ、自分の目標に向けてとことん突き詰められたのだと思います。

保護者からの言葉



口石 麻実さま

本人は、中学生の時は大勢の中に入る事が苦手で、人前で自分の意見を話すことやディスカッションをする事が難しかったです。CLARK SMARTで一番影響が大きかったのは、SDGsのリーダー講座への参加だと思います。おかげで物事を深く考えるようになり、意見交換なども苦手ながら精一杯出来るようになったと思います。発言の場においては自分から積極的に発言する場面も多くあり、こんなにかわるんだなぁと3年生になりさらに感じてます。

先生からの言葉




広島キャンパス

SMART STUDY 担当 瀬尾 良乃

生徒の可能性を信じ、引き出していくことを一番考えています。

生徒を最大限伸ばすために、多様な学びを尊重しながら、本人が気づいていない可能性と一緒に探していく事が大切だと考えています。面談の中で生徒の成長を感じるたびに、嬉しく感じています。一緒に未来の自分に向かって進んでいきましょう。

通信制 7,8	私立 未来高等学校	
------------	-----------	---

本校所在地	愛媛県松山市一番町1-1-3
サポート校(所在地)	高松国際高等学院 (香川県高松市上林町510-39)
入学できる都道府県	全国(広域通信制)
服装・規定	平日(週5日)コースは標準服着用
スクーリング場所	松山本校
スクーリング期間	年間10日間

学習コースや特徴
<p>平日コース(週5日登校)・週2日コース…学校行事を通して高校生らしさを味わいながら、基礎学力の定着、将来の目標実現を目指します。基本的な生活習慣を身に付け、クラスメートと充実した学校生活が送れます。平日コースの午後授業(5つの選択クラス：スーパー特進クラス、ITビジネスクラス、アニメ・アートクラス、芸能・演劇クラス、基礎学習クラス)は得意なこと、興味のあること、やりたいことに取り組みます。</p> <p>通信制基本コース…月に2回登校で高校卒業を目指します。仕事やスポーツとの両立も可能です。</p> <p>集中スクーリングコース…年間10日程度、松山本校に集中的に登校するスクーリング。普段は在宅で仕事との両立も可能です。海外留学にも最適です。</p>

クラブ活動	イベント学校行事
バスケットボール部(男子)、卓球部(男女)、太鼓部(男女)	入学式、遠足、交通安全講習会、学園祭、体育大会、文化祭、スポーツフェスティバル、スキー教室、お仕事フェスタ、3年生を送る会、卒業式 等

募集要項			
募集人員	平日コース：80名 週2日コース：20名 通信制基本コース・集中スクーリングコース：150名	選考方法	書類選考、面接、作文
出願期間	新入生：R3/12/1～R4/4/1 転入生：R4/12/22まで		

学校のおススメポイント
<p>学校法人河原学園内の専門学校8校と高専連携授業を実施しており、キャリア教育も充実しています。</p> <p>4つの登校コースがあり、自分にあった登校スタイルを選択できます。</p>

在校生の声

3年生(平日コース：芸能演劇)

僕はアイドルになりたいという夢を持って未来高校に入学し、平日コースの芸能・演劇コースに在籍しています。創作ダンスや発声の基礎を学びながら、様々なジャンルのダンスや歌を勉強し、みんなが笑顔で元気になってもらえるようなアイドルになれるよう毎日チャレンジしています。未来高校では、僕のように夢をもって入学してきた人や中学校の頃に学校に行きにくかった人など、「今から未来に向かって頑張ろう!」という気持ちを持った仲間がたくさんいます。また、未来高校の先生方は、僕たち一人ひとりの良いところを見つけて個性を伸ばしてくれます。高校生活に不安を感じている人も多いと思いますが、安心してください。大丈夫です。僕も1年生の時は不安でいっぱいでしたが、楽しい先輩方や先生方のおかげで、すぐに慣れることができました。今は不安より楽しいことが多く毎日がすごく楽しいです。皆さんがまだ見たことのない世界を、未来高等学校で発見してみてください。

卒業生の声

令和元年度卒業(平日コース：スーパー特進)

僕が大学に合格することができたのは未来高等学校の先生たちのおかげです。特進クラスの授業は、先生が生徒一人ひとりに合ったプリントを用意して下さり、基礎からしっかりと教えてくれるので学力の面でとても成長できました。また、全日制の高校とは違って生徒の人数が少ないため、何の気兼ねもなく授業中に質問できます。先生と生徒の距離も近いです。進路についての悩みなどを担任の先生だけでなく、いろいろな先生に話すことができるので、より自分の進路について深く考えることができました。

保護者からの言葉

通信制基本コース

入学するまでは、子どもが本当に通えるのか不安でしたが、未来高校の先生方が子どもに寄り添って下さり子どもに合わせたペースでの登校を促して下さったことに大変感謝しております。子どもが自主的に登校できるようになり、卒業までたどり着くことができました。高校生活の中で将来の夢を見つけることができ、現在は専門学校に進学しております。本当にお世話になりました。


先生からの言葉

平日コース：スーパー特進クラス担任

それぞれのレベルに合ったところから演習問題を段階的に解き、解答を個別に採点・解説することで生徒全員の学力アップをサポートします。また、過去に実施された各私立大学の試験やセンター試験、国公立二次試験からも問題を引用し、様々な希望進路に対応した学習を進めています。

週2日コース：担任

いろいろな生徒が在籍しており、様々な考え方や状況に刺激を受けながら「お互いを尊重できる」そんな環境が週2日コースにはあります。無理なく楽しく学校生活を送りましょう。

通信制 8	私立 ルネサンス大阪高等学校	
----------	----------------	---

本校所在地	大阪府大阪市北区芝田2-9-20
サポート校(所在地)	
入学できる都道府県	全国(広域生制)
服装・規定	自由
スクーリング場所	本校
スクーリング期間	最短5日間 ※夏冬2回に分けることも可能

学習コースや特徴
<p>①通信コース ②通学コース(オプション) ③eスポーツコース(オプション)</p> <p>★登校日 数年間4日!(26単位取得の場合) 自分の時間を大切にできる、効率的な登校スタイル</p> <p>★スマートフォン・タブレット・パソコンで効果的なレポート提出! インターネットを利用して、場所や時間を選ばず、いつでもどこでもレポートに取り組みます。</p> <p>★安心の担任制で充実の進路サポート! 卒業生総数は、17,000名以上(2021年3月グループ校実績)。担任による、一人ひとりにあった安心の進路サポートで、多彩な進路実績を実現。国公立大、慶應義塾大、上智大など、難関大学多数合格。</p> <p>◆助成金対象校で、学費を大幅軽減! 大阪府の「私学助成金」や国の「就学支援金」対象校です。</p> <p>◆西日本最大級のeスポーツ専用施設「梅田eスポーツキャンパス」では、オプションコース「eスポーツコース」を開講。チームメイトと一緒にeスポーツを通して学校生活を充実させましょう!</p>

クラブ活動	イベント学校行事
卓球部(2021年度全国定時制通信制卓球大会男子個人ベスト16)	入学式・卒業式・文化祭・ハロウィンパーティー・クリスマスパーティー・修学旅行・USJ遠足 ※全て任意参加です。

募集要項			
募集人員	500名	選考方法	面接試験
出願期間	特別選抜入試: 10/25~ 一般入試: R4/1/1~		

学校のおススメポイント
<p>本校が大阪梅田にある通信制高校はルネサンス大阪高校だけ!</p> <p>服装や髪色、メイクやピアスなど校則フリーなので、自分らしく高校生活を過ごすことができます。</p> <p>オプションで、通学コースやeスポーツコースもご用意しているので、より学校生活をエンジョイしたい!という方はオプションコースを追加することも可能です!</p>

在校生の声

中学生のころから不登校気味でしたがどうしても美術を学びたかったので全日制の高校を受験しました。しかし高校でも不登校になってしまい、2年生の二学期に転校しようと思いましたが、体調悪いので登校頻度が多いと全日制高校とあまり変わらなくてつらいかなと思いましたが、ルネサンス高校なら年4日なので「ここなら頑張れる」と思ったのでルネサンス高校を選びました。

卒業生の声

集団が苦手な、義務教育の9年間はあまり学校での思い出がありませんでしたが、高校では友達もたくさんできて楽しく過ごせました。

勉強は中学の時から全然していなかったもので、高校入学後は教材で中学校の勉強から始まりました。憧れていた大学進学も、目指すなら関関同立！と思い、高1の終わりからは塾に通って受験勉強に励みました。

結果は、ほとんど不登校でしたが、小さな頃から好きだったカメラに関わることができる第一志望の立命館大学映像学部合格することができました！


保護者からの言葉

全日制の高校から「通信制に行きたい」「転校したい」と聞かされた時は、子どもをなかなか理解してあげられることができませんでした。自分の教育が間違えていたのではないかと思う時もありました。葛藤の中で、子どもにどうなってほしいのか、原点に戻って考えた時に、「子どもが元気でいきていけばそれでいい」と思えるようになりました。それからはありのままの子どもを受け入れることが出来るようになり、やりたいようにやらせてきました。ルネサンス高校に転校してからは、本人は気づいていないようですが生き生きと毎日すごしています。子どものサインを見逃さないように注意していたつもりでしたが、全日制の高校では無理をしていたんだなと気づきました。アルバイトを始めてから社会性が身についたのではないのでしょうか。いろいろな仕事を任せられるようになり自分が「必要とされる存在」と感じているようです。今までの学校では扱いにくい生徒だったと思います。でもルネサンス高校で認めてもらえ、アルバイトでも必要とされ、大学にも合格することができ家族の中だけでなく、社会から子どもの存在を認めてもらうような環境に身を置くことができ、本当に良かったと思います

先生からの言葉

ルネ高ならではの独自の授業は、生きていくため・働くために考える力や興味をもつことなどに、卒業に必要な教科科目にこだわらない授業です。

教員も授業を工夫し、役立ち楽しめる内容にするよう頑張っています！

分校型 ポト校 5	私立 松陰高等学校 高松校・丸亀校	
-----------------	----------------------	---

本校所在地	山口県岩国市錦町宇佐郷507
学習センター(所在地)	香川県高松市亀井町8-11、香川県丸亀市浜町45-1
入学できる都道府県	全国
服装・規定	自由(指定制服有)
スクーリング場所	高松校・丸亀校 ※通いなれた教室で卒業までのすべてが完結します。
スクーリング期間	履修に応じて必要な時間数教室で授業を受けてもらいます。

学習コースや特徴	
<p>生徒一人ひとりが“安心して学べる環境”を第一に考え、卒業までマンツーマンでサポートします。授業だけではなく、通信制だからこそできる様々な「体験」を経験することで新たな価値観が芽生えます。卒業後の進路や、社会生活において自分でしっかり歩いていけるチカラを身につけられるよう職員一同が生徒指導に取り組んでいます。</p> <p>◆トータルサポートコース 自分のペースで勉強したい。そんな方にぴったりの指導が受けられます。週5日間自由に登校し職員のサポートをしっかり受け、高校卒業～大学進学や専門学校進学、就職を目指していきます。また、進路選択の1つとなるように3つのアシストを準備しています。</p> <p>▼美容ファッションアシスト、▼技術取得アシスト、▼ビジネスデザインアシストはトータルサポートコースの費用内で受講できます。</p>	

クラブ活動	イベント学校行事
・ボランティア部 ・eスポーツ部 ・美化栽培部 ・レクリエーション部	年間通してどこよりも多くの学校行事を準備しています

募集要項			
募集人員	各学年50名	選考方法	親子面接・学科試験 (転入学の場合は学科試験免除)
出願期間	応相談		

学校のおススメポイント
<p>高松校と丸亀校は松陰高等学校の面接指導実施施設に認定されているため、わざわざ飛行機や新幹線を使って他県まで行って知らない人と同部屋で宿泊する必要は一切ありません。通い慣れたいつもの教室で親しみ慣れた教員免許を持った先生がやってくれるスクーリングを顔馴染みの友達と一緒に受講することができます。</p>

在校生の声

松陰高等学校を選んだ理由 生徒アンケートより抜粋

教室の雰囲気や登校スタイルが自分に合っていると思ったから。自分の好きなことができて自分自身をちゃんと入学前から見てくれたから。他の通信制の学校にも見学や話を聞いたりしたが松陰が一番対応が丁寧で思っていることをすべて受け入れてくれたから。また、進学や就職のサポートも充実していたから。制服がかわいいから。学校が苦手な自分でも通える。いろんなことに挑戦できる。自由な時間が多いから。人数が少ないから。質問もしやすく勉強しやすい環境だと思ったから。行事が多く教室で検定も受けられるから。検定などに挑戦でき、見学に行った時教室にいた先輩達が優しかったから。

卒業生の声

松陰高等学校の好きな所 卒業生アンケートより抜粋

自由を大切にしてくれるところ。松陰高校の良い所は、アットホームな雰囲気だと思います。途中転入してくる人が多い学校なので、先生・在校生共に新しく入ってくる子を温かく迎え入れようとする心を持っているところは転入してくる側からしたらとてもありがたいことです。とにかく通いやすい！先生も初めて会う生徒もみんなフレンドリーで優しく話しやすい！学校に行くことがまた好きになれる。好きな所はみんなが仲良く明るい所。通信制高校なのでいろいろな地方から生徒がきて初めはバラバラなのに気づけばみんなが輪になりひとつになり楽しく過ごせる場所。検討している人は自由登校で無理せず自分のペースで学校に来てゆっくりと自分を見つけれるそんな学校だと思う。

保護者からの言葉


今迷われている生徒・保護者の方へ 保護者アンケートより抜粋

毎日楽しそうに学校に行っているのがとても嬉しいです。自己管理が身につくやすいカリキュラムなので、校則や人間関係にとらわれすぎずに通えるのはおすすめできます。また、先生との交流も濃い、先輩・後輩の隔たりがないのはのびのび過ごせるポイントだと思います。とても丁寧に話を聞いて下さいます。また、待ってくれます。本人のことをよく見てくれています。どの先生に話をしても他の先生にも伝わっていると感じます。

先生からの言葉

言葉は言霊。言葉には魂が宿っていると言われていています。言葉は人を傷つけたり、癒されたり、心に響けばその人を変えることも出来ます。高校3年間は長いようで短いもの。本人の「やる気」次第で、高校卒業はおろか、その先の進路の実現、そのずっと先にある「夢」でさえも叶える可能性があります。教員の役目は生徒一人ひとりの「やる気」の種に水を運ぶことだと考えています。毎日1つ。生徒の中にある小さな輝きを探して褒めるように心がけています。松陰高等学校にはあなたの未来の姿があります！！

猪熊 一生

サポート校 6	私立 鹿島朝日高等学校 学習センター高松キャンパス	
------------	------------------------------	---

本校所在地	岡山県岡山市北区御津紙工2590
サポート校(所在地)	香川県高松市常磐町1-3-1瓦町フラッグ9F
入学できる都道府県	全国47都道府県
服装・規定	特になし
スクーリング場所	香川短期大学や鹿島朝日高等学校本校、徳島大学、高知大学など
スクーリング期間	年間約10日

学習コースや特徴
<p>通学コースと完全自宅学習コース、令和4年度からはWEBコースが新たに増設され、自分のスタイルで高校卒業を目指すことができます。高校卒業には、36ヶ月の在籍と74単位の取得が必要です。タブレットによるレポート提出とスクーリング(対面授業)、特別活動の出席と単位認定試験の合格で、単位取得できます。スクーリング(対面授業)は、香川短期大学(香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁10 JR宇多津駅から徒歩10分)で行われます。近隣のスクーリングへの参加もOKです。徳島は徳島大学、高知は高知大学、岡山は鹿島朝日高等学校本校、岡山駅近くの岡山科学技術専門学校でも行われています。履修教科数にもよりますが、年間約10日くらいの出席が必要です。視聴票(NHKの高校講座を視聴して問題に答える)を提出することで、スクーリングの出席時間を減免できます。</p>

クラブ活動	イベント学校行事
ボクシング部・クラフト部・着付けクラブ	入学式・いちご狩り・地元の会社(工場、お店)見学・農業体験・美術館見学・琴電瓦町駅周辺、JR高松駅周辺清掃・卒業式など

募集要項			
募集人員	30名(転入生・編入生含む)	選考方法	書類選考(入学書類提出後に面接)
出願期間	R4/1/11		

学校のおススメポイント
<p>通学が難しい場合、自宅で教科書を見ながらレポートを進めていく完全自宅学習コース、映像授業を通してレポートを進めていくWEBコースがあります。また、働きながら高校卒業を目指す人にもおすすめです！完全自宅学習コースも通学コースも単位取得のためのスクーリングへの出席は必須です。制服の購入、着用は、自由です。また、服装やヘアスタイル、メイク等高校生として良識ある範囲内で自由です。バイク・車の免許、アルバイトに関しては、保護者の同意があればOKです。</p>

在校生の声

私は、アルバイトをしながら、週に1日～2日、高松キャンパスに通っています。キャンパスでは、教科のレポートや視聴票をしています。わからないところは、先生に教えてもらっています。中学校の時は学校に行っても教室に入れずに、保健室に行っていました。人と話すことが苦手で、人の目ばかり気にして、自分のやりたい事など考えたこともありませんでした。そんな私ですが、高校には行きたくて、通信制の鹿島朝日高等学校を受験することにしました。入学してから、先生に「高校生になってしたいことは？興味があるものがあつたら、教えて！」と、言われて「アルバイトがしたいけど、無理やと思う」と答えました。でも、今は、アルバイトもレポートや視聴票も締切日に間に合うように計画を立ててやっています。鹿島朝日高等学校は、自分のやりたいことをやれる学校だと思います。高松キャンパスの先生は「自分の短所は隠れた長所だよ」と言ってくれて、短所ばかりの自分に自信を持つことができました。

卒業生の声


僕は今年の3月に鹿島朝日高等学校を卒業して、就職しました。現在、正社員として採用してもらっています。僕は、過去の間人関係から人とかかわることが怖くて学校に行けなくなりました。そんな時に鹿島朝日高等学校のことを知って母と見学に行きました。「この学校なら卒業できるかも」と思って、入学を決めました。鹿島朝日高等学校には、途中からの入学でしたが、以前通っていた高校の続きができたので、3年間で高校を卒業することができました。勉強も教えてもらいましたが、ものの見方や考え方を教えてもらったことで、気持ちが楽になり、前向きになりました。高校卒業後は、仕事をしようという気持ちになり、先生に相談して今の会社に入れることになりました。毎日が、とても楽しいです。

保護者からの言葉

最初は、通信制高校に対していいイメージがなく、子どもが「通信に行きたい」と言ったときには、家族みんなで反対しました。説得しても子どもの「通信に行きたい」という気持ちを変えられず、仕方なく電話したのが、鹿島朝日高等学校でした。勧誘されるイメージが強く、強引だったら電話を切ろうと思って非通知で電話をしました。「今の子どもさんの状況は、どうですか？ご飯は、食べられていますか？」と聞かれ、学校にあまり行けてないことや本人が通信制高校に進学を希望していること、ご飯は食べていることを伝えました。すると、「ご飯が食べられていて良かったです。香川県には、通信制の高校がたくさんあって、どの通信制高校もしんどい思いをしている子どもたちに寄り添ってくれると思うので、学校見学に行ったら子どもさんが選んだ高校を受験させてあげてください」と言われて、うちの子どものことを一番に考えてくれていると思いました。今、娘は鹿島朝日高等学校に入学して、バイトと学校の両立をしています。毎日が楽しそうで良かったです。

先生からの言葉

鹿島朝日高等学校の卒業を目指す生徒のサポートをしています。高松キャンパスには、数学と英語を主に指導して下さる横田先生、国語と英語と社会を主に指導して下さる森本先生、アクセサリー作りや美容のこと、ゲームのことに詳しい池田先生、生徒のお母さんの存在の豊嶋先生の4人の先生がいます。職員一同、一人でも多くの生徒が笑顔になれるよう、そして、その生徒が家族やまわりの人を笑顔にしていけるよう、生徒と共に日々成長していきたいと考えています。ものの見方や、考え方は人それぞれ、みんな違ってみんないい。違っていいからこそ、気づきや学びがあります。生徒自身が物事をどう見て、どう考えるか、私たち職員は生徒に寄り添い、一緒に見て、考えていきたいです。

サポート校 6	私立 鹿島朝日高等学校 <small>たくみ まなびや</small> 匠の学舎【不登校・ひきこもり支援コース】	
------------	--	---

本校所在地	岡山県岡山市北区御津紙工2590
サポート校(所在地)	香川県仲多度郡琴平町45番地
入学できる都道府県	全国
服装・規定	自由
スクーリング場所	香川短期大学（当校から送迎あり）
スクーリング期間	年間約10日

学習コースや特徴
<p>【不登校・引きこもり支援コース】中学校までに不登校やひきこもりを経験した生徒が、高校卒業資格を取得するためのコース。登校日は週1日～5日で、通信制高校（鹿島朝日高等学校）の卒業を目指して学習します。生徒一人ひとりに合わせたプログラムを組み、基本的な生活習慣や基礎学力を身につけることを目指します。また、在学中にその生徒の適性を考えて職場体験や就労体験を行い、卒業後の進路についてもしっかりサポートします。</p>

クラブ活動	イベント学校行事
	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生歓迎行事（こんぴらさん参詣） ・野外活動（バーベキュー大会） ・スポーツ大会など

募集要項			
募集人員	5名		選考方法 ・学力考査（数学・作文） ・面接（保護者同伴）
出願期間	【1次】 R3/12/20～R4/1/19：試験日R4/1/20 【2次】 R4/1/21～2/22：試験日R4/2/24 【3次】 R4/2/25～3/23：試験日R4/3/24		

学校のおススメポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの能力・やる気に合った指導をいたします。 ・様々な体験・研修を通して興味や関心を育みます。 ・専門のカウンセラーが日頃の不安や悩みから進路指導まで、フォローいたします。 ・年度途中での編入については、ご相談を随時受け付けています。

在校生の声

ぼくは、中学校まではほとんど学校に行けなかったけれど、高校の卒業資格だけはとるように親に言われ、【匠の学舎】に進学しました。親の仕事の関係で、農業に興味が出てきたので、農業のアルバイトがしたいと学校に相談。自宅近くの農業法人に交渉してくれて、週4日は農業の仕事をし、週1日は学校で先生と一緒に勉強をしています。高校の卒業資格取得の見通しもつき、卒業後も農業の仕事につけそうなので、匠の学舎に来て、本当によかったと思います。

卒業生の声


中学校の時、友人関係で悩み、学校にいけない日が続いて高校進学もあきらめていましたが、匠の学舎に進学し、少人数のクラスで丁寧に勉強を見てもらえ、高校卒業資格を取得することができました。在学中に興味がわいてきた科学の分野の専門学校への進学も果たすことができ、匠の学舎の先生方には本当に感謝しています。

保護者からの言葉

中学校では不登校が続き、高校進学はあきらめていましたが、新聞で匠の学舎のことを知り、先生方とも相談しながら高校卒業の資格だけは取得させたいと思い、進学させました。はじめは週1日、親が車で送迎していましたが、そのうち一人でバスに乗って通学するようになりました。順調に進級でき、今年は3年生です。子どもと先生との信頼関係もできていて、卒業後のことについても色々相談しているようです。子どもの特性を理解し、興味・関心のある分野への進学・就職をサポートしていただけるものと期待しています。

先生からの言葉

不登校・ひきこもり問題に悩む多くの人たちに対し、「原因は何か」を探ることはもちろん大切です。しかし今一番重要なのは、原因の究明ではなく「その子に対して、何ができるか」であると考えます。将来の人生や生き方に、いかに明るい影響と希望を与えることができるかを、SOLかがわは追及します。

サポート校 6	私立 鹿島朝日高等学校 <small>たくみ まなびや</small> 匠の学舎【職人育成コース】	
----------------	--	---

本校所在地	岡山県岡山市北区御津紙工2590
サポート校(所在地)	香川県仲多度郡琴平町45番地
入学できる都道府県	全国
服装・規定	自由
スクーリング場所	香川短期大学（当校から送迎あり）
スクーリング期間	年間約10日

学習コースや特徴
<p>【職人育成コース】登校日は週1日～2日で、通信制高校（鹿島朝日高等学校）の卒業を目指して学習します。登校日以外は企業研修になります。『建築職人』には、まずイメージされる”大工”や”左官””鳶”をはじめ、大まかにでも15業種あります。高校3年間で自分に合った業種や興味を持った業種を選択して、本格的な建築職人になるための知識と実践的な技術を身につけると同時に、職人としての心構えや礼儀を身につけることができます。また、建築大工技能士資格をはじめ、選択した業種やご本人の希望により、各種技能士資格の取得をめざすこともできます。将来、建築職人になりたい！という人はもちろん、建築に携わる職業に興味がある人、机での勉強は苦手だけど、もの作りは好きだと言う人、将来の夢を思い描けない人にも、一生の財産になる時間が過ごせる学校だと思います。</p>

クラブ活動	イベント学校行事
	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生歓迎行事（こんぴらさん参詣） ・野外活動（バーベキュー大会） ・スポーツ大会など

募集要項			
募集人員	1学年 15名		選考方法 ・学力考査 （数学・作文） ・面接（保護者同伴）
出願期間	【1次】 R3/12/20～R4/1/19：試験日R4/1/20 【2次】 R4/1/21～2/22：試験日R4/2/24 【3次】 R4/2/25～3/23：試験日R4/3/24		

学校のおススメポイント
<p>現場実習の中で、現職の職人さんと一緒に作業をさせてもらうことができ、作業のコツ・職人としての心構えを教わるすることができます。また、同時に高校卒業資格を取得するための学習については、職員がしっかりサポートいたします。</p> <p>年度途中での編入については、ご相談を随時受け付けています。</p>

在校生の声

私は、幼稚園の頃『宮大工』という職人さんを知り、テレビで女性宮大工の特集などを見たりするうちに、「自分も宮大工になりたい!」と強く思うようになりました。宮大工が夢だなんて叶わないと言われる中、『匠の学舎』を知り、家族や恩師が背中を押してくれ入学しました。専門授業では、長年建築業に携わって来た方でもなかなか見られないという神社の新築現場を見学させてもらったのですが、実際の宮大工の仕事に触れることができ、とても興奮しました。『匠の学舎』に進学して、まだスタートラインに立ったばかりですが、自分の夢に向かって頑張りたいと思います。

卒業生の声


僕は、中学校の頃からずっと、自分の好きなことや勝手ばかりして何事も楽な方へと逃げる、そんな生活を続けていました。しかし、専門業種を決めた2年生の時に「いつまでもこのままではいけない」と思いたち、無遅刻・無欠勤で企業研修に出るようになり、週1回の一般教科の勉強にも身が入るようになりました。2年間の企業研修で「1.精神力、2.体力・筋力、3.現場に直結した様々な技術の習得、4.いろいろな人との人間関係の構築」が身に付いたと思っています。社会人となり、建築職人として働いている今の自分があるのは、普通の高校生活ではなかなかできないような経験を、匠の学舎で経験できたからだと思っています。

保護者からの言葉

学校での勉強が苦手でしたが、物作りや体を動かすことは好きな息子の進学先に悩んでいた時、匠の学舎を知り、オープンスクールに親子で参加しました。オープンスクールでの体験授業で、建築作業を体験させてもらい、楽しそうに作業していた息子はその場で進学を決め、受験のためと苦手な勉強も頑張るようになります。入学してからの息子は、日に日に成長しているようで、顔つきも変わってきたと言われます。好きなこと、興味・関心のあることを将来の仕事にできる、そのためのサポートもしていただきながら、高校卒業資格も取得できる、ありがたい学校だと親子ともども感謝しています。

先生からの言葉


私たちは、勉強が良くできるのも、走るのが速いのも、また球技が得意なのも、また、もの作りが好き・得意だということも、それぞれの個性であり能力と考えています。私たちは、若者育成の立場から、それぞれの持って生まれた個性や能力が生かせる環境を提供したいという考えのもと、匠の学舎を設立しました。その子その子の持つ能力を活かせる職業に就けるお手伝い、ひいては、建築職人育成を目指し、日々子どもたちと接しています。

対応校 6	私立 鹿島朝日高等学校、私立 高松中央高等学校 トライ式高等学院 中新町キャンパス	
----------	--	---

本校所在地	高松中央高等学校：香川県高松市松島町1-14-8 鹿島朝日高等学校：岡山県岡山市北区御津神工2590
サポート校(所在地)	香川県高松市天神前10-5 高松セントラルスカイビルディング1階
入学できる都道府県	全国
服装・規定	なし
スクーリング場所	香川短期大学（鹿島朝日高等学校）、高松中央高等学校本校
スクーリング期間	年間約10日

学習コースや特徴
<p>当学院は設立以来、一つの型に子どもたちを当てはめるのではなく子どもたちの「自分らしさ」に合わせて学びの形態を変化させ続けてきました。運営母体であるトライグループが持つマンツーマンの学習ノウハウや大学受験に向けた進路指導、全国20万人の講師陣、各領域において最高水準の技術を持つ企業パートナーと協同で自社開発している最新のAI教育やオンラインサービスなどを余すことなく取り入れています。</p> <p>現在では全国98カ所にキャンパスを展開、自宅に先生が伺い指導を行う在宅コースやリモートで学習指導が受けられるオンラインコースも設置し、子どもたちの状況に応じた多様な学びの機会を提供しています。また、文化祭・体育祭・修学旅行などの学校行事や、部活動・委員会・オンラインイベントなども生徒主体で積極的に行われており参加は生徒の自由意思で決めることができます。</p>

クラブ活動	イベント学校行事
生徒会、美化委員、美術委員、 運動部、園芸部	林間学校、体育祭、文化祭、修学旅行 その他、定期的にキャンパスで 体育館でイベントを行ってます。 ブログはこちらです→→→→→→



募集要項			
募集人員	特に規定なし	選考方法	面接、書類選考
出願期間	推薦Ⅰ期 7/1-10/31 Ⅱ期 11/1-12/26 専願 1/4-3/31 併願1/4-2/28		

学校のおススメポイント
<p>一番はアットホームな雰囲気です。生徒間、年齢での隔たりはないので、学年関係なく仲良くすることができます。またどの生徒さんも魅力的なのですぐに打ち解けることができます。教師陣も丁寧、優しい講師ばかりです。もちろん受験対策は優しさばかりでは勝てませんから時に厳しく常に優しく指導してくれます。進路にお悩みの際には生徒さん一人一人の目標を見つけさまざまな進路方向の提案をしてみたいです。</p>

在校生の声

高等学院はとても過ごしやすい環境だと思います。最初登校するときは緊張しましたが、先生方がおはようと言ってくれたのですぐに緊張が解けて、今では毎日通うのがとても楽しいです。自習スペースも広く、奥のスペースで個別授業をしているので、勉強をする緊張感もあって、家でするよりもずっと集中して自主学習を進めることができます。個別で授業を行うので、わからなければすぐに質問もでき、自分のペースで安心して進めることができます。先生方もとても親しみやすく、面談の時、自分の不安なことも相談でき、生徒と先生の距離が近いというのもすごくいいことだと思います。高等学院には、みんな転校や入学、編入と入ってきた時期が違うので、先輩後輩という区切りがなく、イベントや通学するにつれて年下のことも仲良くなれてとても嬉しいです【K.Sさん】

卒業生の声


トライで友達ができただことは大きい。トライに来て、世間にはいろんな人がいると思った。勉強をする楽しさも知ることができて、進路もつながったので良かった【S.Mさん】
誰かが支えてくれている。そう思えば不安を抱いたとしても前に進める勇気をもって行動できる。トライ式高等学院に入学してから家族や先生方にとても助けられました。【M.Mさん】
トライに入学して前向きな気持ちと少しの自信、将来の目標を得ることが出来ました！
これからは将来の目標に向けて養った英気で頑張っていきたいです。【N.Mさん】

保護者からの言葉

前籍高校の子どもを見ていた時は正直、今後どうなるか心配でありました。しかし毎日楽しそうにしている様子を見て、転校させてよかったと思っております。【A保護者様】
子どものことをしっかりと見てくださり、理解してくださっていることに感謝します。
一方で不登校の時間が長かったのでまだ心配な面もありますが、これからトライ式ですこしずつ、いざというときに踏ん張る力がついてきたらと思います。【S保護者様】

先生からの言葉

トライ式高等学院で英語を担当している講師M・Sです。グローバル化が進むこの時代、英語は世界言語になっています。英語を読んだり書いたり、会話ができるようになったりすると、英語圏の人々はもちろん、非英語圏の人々ともコミュニケーションが取れるようになります。高校英語は文法から読解や会話まで網羅する英語習得の絶好のチャンスです。一緒に楽しみながら英語を身につけていきましょう！【講師M.S】

ポ ー ト 校 7	私立 クラーク記念国際高等学校 希望高等学園 香川校（連携校 岡山キャンパス）	
--------------	--	---

本校所在地	北海道深川市納内町3-2-40
サポート校(所在地)	香川県丸亀市浜町53 マツサカビル3F
入学できる都道府県	香川県、岡山県、広島県
服装・規定	私服、他の人に迷惑をかけない
スクーリング場所	クラーク記念国際高等学校連携校岡山キャンパス（岡山市北区島田本町1-2-12）
スクーリング期間	8月に数日（夏期スクーリング）、12・1月に数日（冬期スクーリング）

学習コースや特徴	
【特徴】	<ul style="list-style-type: none"> ・個性尊重の自立教育 ・カバヤ、オハヨー、岡山情報ビジネス学院グループ ・香川（丸亀）、岡山、倉敷、津山、福山に広がる学校 ・希望の日に、いつでも何日でも好きな時間に学習できる ・自分のペースで自由闊達に学習し、個性を伸ばす ・WEB学習で在宅学習中心の学びもできる ・大学受験ネットシステムで合格を目指す ・個別指導と担任制で卒業率95%以上（3年間で）
【コース】	<ul style="list-style-type: none"> ●週2日通学コース（週2日程度通学し、レポートの学習指導を受ける） ●大学特進コース（週2日通学+WEB上で大学受験の学習を行う） ●才能・個性育成コース（週2日通学+デザイン・音楽などの才能を伸ばす） ●WEB学習コース（スクーリングや定期試験、行事以外は在宅学習）

クラブ活動	イベント学校行事
<ul style="list-style-type: none"> ・学内の部活動は無し ・学外の卓球スクールや、ドローンスクール、美術スクール、音楽スクールなどを紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動、ボウリング、遠足、運動会、ドミノ倒し、ちぎり絵、カレンダー作り ・集団行動が苦手な人も参加しやすい行事、宿泊は無し

募集要項			
募集人員	各コース30人	選考方法	親子面談 (筆記試験・作文無し)
出願期間	11/1~3/31		

学校のおススメポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・香川校はJR丸亀駅徒歩3分の通学に便利な場所にあります ・香川校は生徒数が少ないので、家庭教師のようにマンツーマンに近い指導です ・香川校の令和3年3月卒業生が、大阪芸術大学に合格しました（香川校1期生） ・岡山校や倉敷校、津山校、福山校に通うこともできます（引っ越しなど） ・スクーリングは北海道のクラーク記念国際高等学校まで行く必要はなく、岡山市で受講できます

在校生の声

①毎月のレポート以外にも私は漢字検定の勉強に取り組み、合格することができました。②体調にムラがあり、前の学校では毎日行くのが辛かったけれど、今は無理のないペースで通えています。③私服で良いので自由な雰囲気です。駅から近いので通いやすいのも大きなメリットです。バイトとの両立が可能だと思います。④私は、毎日通うことが不安で、この学校を選びました。1週間のうち好きな日に2日の通学で良いところと、午前中でも午後でも登校でき、好きな時間に勉強ができるので、自分には合っていると感じています。登校をしない日には、好きな絵の勉強をしたり、自分のやりたいことをしています。卒業後は、デザインなどが学べる大学か専門学校に進学したいです（1年）。

卒業生の声

①自分のペースに合わせて行ける学校なので行きたい時に行けるのが私にとってはすごく良かったです。②私は中学校にほとんど行っておらず、高校での生活に対して不安を感じていました。希望高等学園で「自分の夢」を見つけ今はその夢に向かった毎日大学に行き勉強しています。この学校にいていなければ今の自分はいないと思っています。③【令和2年3月卒業生：I P U環太平洋大学2年在学】私はこの学校でなければ高校を卒業することができなかつたと思います。高校も卒業できて、希望の大学に合格・入学することができました。大学では、学長賞（学科で一番の優秀賞）をいただき、友人もでき、楽しい大学生活を送っています。希望高等学園に入学して本当に良かったです。

保護者からの言葉

【令和2年3月卒業生の保護者】

息子は今、専門学校に元気に通っています。希望高等学園は、週に2日程度の通学で良いし、また、生徒さんのほとんどが下校した放課後の登校でもよいので、私の子どもも通うことができました。少ない登校日数で、ゆっくり自分のペースで学習できたので、この3年間で十分に充電することができたと思っています。この3年間で無理をせずに充電できたので、今の専門学校に毎日通うことができていると思います。先生方、本当にありがとうございました。

先生からの言葉

【副校長：伊藤英明】

希望高等学園は、平成10年4月、クラーク記念国際高等学校のサポート校とし開校して以来、20数年が経過し、卒業生数も1900名を超えています。本学園には、不登校の方、長期欠席の方、別室登校の方、集団行動が苦手な方、コミュニケーションが苦手な方、発達障害のある方、高校転校希望の方、中途退学の方など、多様な生徒さんに入学していただいています。いろんな生徒さんを一人ひとりの個性として尊重して、その個性を伸ばす教育を行っていきたくと思っています。将来の「夢」と「希望」に向かって、一人ひとりが自分らしく歩めることができるように学習面や生活面で誠実にサポートしていきたくと思っています。

サポート校 5	私立 さくら国際高等学校 香川キャンパス	
------------	-------------------------	---

本校所在地	長野県上田市手塚1065
サポート校(所在地)	香川県綾歌郡綾川町畑田552-4 (琴電琴平線 挿頭丘駅 徒歩30秒)
入学できる都道府県	香川県
服装・規定	特になし
スクーリング場所	当サポート校通学のみで、別途スクーリングは不要
スクーリング期間	

学習コースや特徴	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象生徒は、不登校生徒及び高校中途退学者等、現存の県内の高校に通うのが困難な生徒。 ・ ひとりひとりの生徒にきめ細やかに対応するため、生徒をあまり増やしすぎない。 ・ 暗記学力のみを要求しない。 ・ 一人一人の生徒とその保護者に対する面接カウンセリングを通して、必要な場合には、不登校生徒の人間不信の解消も目指す。 ・ 同一教室内での学習活動を行う人数を可能な限り少なく（最大5～6人程度）抑えることで、対人恐怖やパニック障害の傾向を持つ生徒の感じるストレスを低減させるよう配慮する。 ・ 「早く早く」と急がせることや「頑張れ」という声かけを極力控える。 ・ 必要以上に生徒を「比較」したり、「競争」させることで生徒のストレスを高めることがないように努める。 ・ 太陽の下で農作業や自然の草花・樹木の栽培や手入れ等の作業を行うことで、生徒自身が本来持っているリズムの回復を図る。 	

イベント学校行事	
パン作り、遠足、冬野菜の植え付け、植木屋さんの手伝い、ビデオ編集をプロの先生から学ぶ、おもち作り	

募集要項			
募集人員	少数	選考方法	面接のみ
出願期間	1～4月		

学校のおススメポイント	
<p>NPO法人地域教育福祉会花さき山がサポート校として支援しています。生徒一人一人のペースに合わせ週にどれぐらい通学するか、何を学ぶかを本人が担当者と相談しながら主体的に決めた上で、学習を進め、その中で考える力をつけていきます。さらに、自宅での学習についての相談や支援も行います。また、進学、就職など何か明確な目標がある場合、それへ向かう学習についてのアドバイスを行うことも可能です。生徒の指導を担当する者は、20年以上県立高校の教師を勤めた後も、「NPO花さき山」を15年以上に渡って運営しており、不登校などの児童に対して学習面と生活面両方に適切なアドバイスが可能です。基本的に最初は少ない日数、短時間の登校から始め、なるべくゆっくりとしたペースから学習を始めます。</p>	

在校生の声

①ここは、生徒が自分のペースに合わせて、出来るだけ自分が良い方向に向かうように先生や先輩がアドバイスしてくれたり、相談に乗ってくれる学校です。また、今日は何を、どれくらいの量、勉強するかも自分で決める事が出来ます。毎日の学習の基本は、それぞれの教科のプリントをするか、図書室で自分が見つけた本を読むことです。私も体調の良くない日には、少ししか勉強が出来ないこともありますが、それでも先生は解ってくれます。

②見た目は、ログハウスで少し変わった学校ですが、中身は生徒の自主性を重んじる校風で、少人数制で一人一人のペースで学校生活を送る事が出来ます。朝の掃除が終わったら、教室に戻ってレポートをする人がいたり、本を読んで、その内容の要約と感想をまとめる人がいたり、一つの教室でそれぞれがそれぞれの勉強をしています。また、大学進学を目指す3年生などは、一通りの勉強が終わった後に、朝日新聞の天声人語の要約や小論文、英語の授業を受けています。少人数制だからこそ、より密な人間関係の中で勉強することができ、自主性を尊重するからこそ、自分の考えを持って、何事にも取り組む事が出来る学校だと思います。

卒業生の声


①新聞の天声人語を読んでレポートを要約することをしてきた。小さなNPO法人がやっているのので先生が少人数とのこと、先生との相性が良ければ問題がない。

②私は、元々は不登校で中学3年生から高校卒業まで「NPO花さき山」に通っていました。普段ここでは主に、新書などの要約とその内容への意見や提案を書いて提出したりする事が多く、この学習を通して時事問題や様々な社会問題などへの関心、知識や考える力、そして自らをそれらに関わる主体と捉える力が育ったと実感しています。在校時、私は週に4回学校へ通っていました。しかし、最初は週に1回、数時間だけ来て、自宅でどんな事をしていたか報告し、生活についてのアドバイスをしてもらったりして生活のリズムを作ったりし、徐々に登校時間や日数を増やしていきました。先生と相談しつつ自分のペースで決められるので無理なく続けやすく、また、生活や自宅での学習についてのアドバイスなどもしていただけたので、勉強だけでなく、生活全般を少しずつ改善でき、自分で主体的に動く力もついたと思います。私は、4年制大学へ進学しました。「NPO花さき山」での、暗記するだけではない、考える力をつけたり、また自ら調べ物をしたりといった学習は、進学に対してだけでなく様々な分野で「ふつう」の学校とはまた違った、非常に役に立つ実践的な力を養う事が出来ました。その学びや経験が、現在の大学生活でも活かしています。

先生からの言葉

書く力や考える力を育むことを大事にしており、大学進学希望者には論文の書き方を指導し、実際に論文を書いて卒業してもらいます。興味関心のあることをとことん追求し、研究する力を育てます。卒業生の中にはAO入試で立命館大学や香川大学、岡山大学などに進学、また大学院に進学する人もいます。

アルバイトをしたり、大学に行くためには、決まった時間に登校し、下校するという約束事を守れるようになることが必要です。好きな時間に来て、好きな時間に帰るという一見自由で良いように見える方針は、長い目で見れば子どものためには良いことではありません。子どもが社会で自立するために必要な生活習慣を身に着けることをサポートします。人との関わりが怖いお子さんにも車の運転免許が取れるよう、保護者をサポートしながら、一緒に目標を達成していきます。「やんちゃ」な生徒も高卒資格が得られるよう、週末に個別指導をすることで、平日通学する不登校経験者とは分け、特別な指導と配慮をします。一人一人、みんないい子ばかりです。

サポート校 7	私立 屋久島おおぞら高等学校 KTCおおぞら高等学院 高松キャンパス	
------------	---------------------------------------	---

本校所在地	鹿児島県熊毛郡屋久島町平内34-2
サポート校(所在地)	高松市番町1-6-6甲南アセット番町ビル1F
入学できる都道府県	全国
服装・規定	制服あり（購入自由）
スクーリング場所	屋久島おおぞら高等学校
スクーリング期間	4泊5日

学習コースや特徴	
<p>学科はスタンダード、みらい、アドバンスの各学科から選択。 スタンダードの中ではウィークデイコース（午前登校）と個別指導コース（午後登校）があり選択する。登校は自分のペースで、週1から5日で高松キャンパスへ通学。ウィークデイコースでは自宅でのオンライン授業でも対応。みらい学科（こども・福祉コース、プログラミングコース、マンガイラストコース）やアドバンス学科（進学コース）はスタンダード学科に追加して学べる。さらに毎日自由参加できる「みらいの架け橋レッスン®」がある。好きなことを見つけたり、伸ばしたり、将来に繋げたり、また友達作りのきっかけとして行っている。年一回の屋久島へのスクーリングは少人数で時期は相談のうえ、実施している。</p>	

クラブ活動	イベント学校行事
なし	年1度のスクーリングでは、世界自然遺産に指定されている屋久島で教室や体育館での授業、屋久島の特色を生かした特別活動を行います。（ヤクスギランド、白谷雲水峡探訪、森林浴など）

募集要項			
募集人員	なし	選考方法	面接、作文、書類選考。面接では入学後、過ごしたい高校生活やなりたい大人へむけた考えなどをきく。
出願期間	中学生：6/1～（本出願は12/1） 高校生：随時		

学校のおススメポイント
<p>先生のことをマイコーチといい、一人一人の担任制（KTCでは先生のことを「〇〇コーチ」と呼びます）。一人一人の高校生活の提案、勉強、進路の相談を行う。また、みらいノート（自分の気持ち、目標をまとめ、見返したりできる。色を付けたり絵をかいたり、コーチからの一言アドバイスなどコーチとのやり取り、思い出写真も載せる）を活用。</p>

在校生の声

私は、高校2年生の1月に転学してきました。はじめは緊張しながらでしたが、みらいの架け橋レッスンや社会の架け橋プログラムに参加し、慣れていきました。いろいろな知識や経験が吸収できてよかったです。また、私服、制服を選べたり、制服も選択できます。髪型、ネイル、イヤリング等おしゃれもできます。アルバイトもできるので勉強、学校生活とあわせて毎日楽しく過ごせています。全日制高校とは違った青春がKTCではできます！！

卒業生の声

私は、現在、大学の文学部に通学しています。KTCおおぞらの3年次生の時には、受験への不安でメンタルが弱くなった時期もあり、コーチに涙を見せたり、愚痴を吐くこともありました。しかしどんな時でも、KTCのコーチは私にしっかり向き合ってくれて感謝しています。KTCでは優しいコーチ、楽しい授業、屋久島スクーリング等思い出がたくさんあります。KTCで高校生活を送れて本当に良かったです！

保護者からの言葉

入学式では親子共々本当に不安でいっぱいでしたが、KTCでの授業やみらいの架け橋レッスンを通して、子どもが自分の気持ちを伝えられるようになり、「未来の自分」について少しずつ考えることができるようになってきました。子どもの表情が生き生きとしているのが親として本当にうれしく思います。

先生からの言葉

KTCおおぞらには、今まで自分でも気づかなかった「新しい自分」に出会えるチャンスが多くあります。できないと思いついてしまっている生徒の背中を少しずつ押してあげることで、多くの可能性があることに気づいてもらいたいです。



本校所在地	高松校（香川県高松市郷東町587-1） 丸亀校（香川県丸亀市港町307）
入学できる都道府県	全都道府県
服装・規定	訓練コースによっては作業服の着用有

学習コースや特徴

本校は、法律に基づき県が設置する職業能力開発校で、高松市と丸亀市にキャンパスがあります。高校卒業以上の方を対象とした2年課程の「技術専門コース」と、求職者の方を対象とした「求職者向けコース」があり、両校で15学科19クラスを設置しています。詳細につきましてはホームページをご確認ください。

クラブ活動	イベント学校行事
	技術学校祭等 (新型コロナウイルス感染拡大状況により、各種行事を中止する場合があります。)

募集要項

技術専門コースは高卒資格が必要となりますが、求職者向けコースは働くために必要なスキルを身に付けたい方であれば中学卒業直後の方、あるいは高校を中退された方でも入学できます。（ただし、入学にはハローワークでご相談をいただき、ハローワーク所長の推薦が必要となります。）募集日程等につきましてはホームページをご確認ください。

学校のおススメポイント

学費等は、無料または非常に少ない負担で受講でき、技術の習得や就職に意欲的な方等幅広く受け入れています。

本校では、経験豊かな指導員が少人数制教育方式によりきめ細かな指導を行っています。職場で必要とされる国家検定をはじめいろいろな資格取得のサポートを行っています。

カリキュラムは、実習を中心とした内容で構成しており、企業実習や見学及び講師招へいなど企業とも連携した実践的な教育訓練を行っています。また、「技術専門コース」では、毎年、全国若年者ものづくり競技会に出場するなど、技能の向上と啓発に積極的に取り組んでいます。

卒業生の声

Hさん 自動車工学科卒：経験豊富な先生方の指導の下、整備を基礎から学べました。就職してみても、改めて貴重な体験であったと実感しています。

Tさん 建築システム科卒：建築システム科では木造2階建ての模擬家屋を実際に建てる等、他ではできないような経験がたくさんできると思いますよ。学校行事も学校祭や校外学習など楽しいものばかりでした！

Nさん 機械システム科卒：授業では様々な専門用語を学んだり、機械の操作を習得し、多くの資格を取得することができました。特に全国若年者ものづくり競技大会 機械製図(CAD)職種で敢闘賞を受賞し、今の仕事に役立っています。

Iさん 造園科卒：造園には樹木の手入れから作庭、外構など色々な展開があると思いますが、自身の努力次第で更なるスキルアップも可能です。また、修了後も先生方は心強い相談役です。

Uさん 住まいリフォーム科卒：仲間にも恵まれ、有意義な学生生活でした。この経験を転職先で生かしていきたいです。

Kさん デザイン科卒：現在はフリーペーパーの制作をしています。企画考案から始まり、クライアントとの打ち合わせ、現地取材・撮影を経て、デザインやライティング、配本まで、誌面作りの一連の業務に携わっています。少人数体制の制作現場だからこそ、幅広い業務に携わることができる環境で、やりがいを持って制作業務に取り組んでいます。

Hさん 電気工事科卒：電気に関して全く知識のない状態だったため、入校当初は工具の扱い方や電気回路図の読み方など苦勞の連続でした。しかし、様々な実習課題をクリアしていくことで自信をつけることができ、在学中には、第2種電気工事士免許を取得、また、電気工事会社に内定をいただくことができました。

Nさん 住宅建築科卒：基礎から丁寧に教えていただき、建築に関して全く経験も知識もなかった私が、就職に対して自信を持つことができました。女性の私でも安全第一で作業を進めるので、安心して取り組み、実習では実際に1軒の木造住宅を建てることができました。

Yさん パソコンCAD科卒：先生方の指導のもと、エクセル、ワード、CADの資格を全て取得し、就職につなげることができました。またクラスメートとは就職後も連絡を取り合う仲間が続いていて、ときおり集まっては学校での思い出話に花を咲かせています。同じ目標を持った仲間と共に、充実した時間を過ごすことができました。


Kさん 情報ビジネス科卒：半年間、正直ハードでしたが、丁寧に分かりやすい先生方の指導のおかげで、在学中に受験した全ての資格を取得できました。今は情報ビジネス科で学んだ知識と技術を活かし、パソコン関連資格を取得する方々に対して受験指導をしています。学校で私自身が受けた経験が大きく役立っています。

Yさん ビル設備管理科卒：これまではビル設備管理の仕事に全く無縁でしたが、第2種電気工事士や乙種4類消防設備士などのビル管理に関する資格を多数取得できました。また、給排水衛生設備、ビルクリーニング、エアコンの取り付けなどの実習で基礎を理解できました。その結果、未経験でビル管理関連の仕事に就くことができました。

先生からの言葉

電気システム科 指導員：「電気」はあらゆる産業の基盤となる重要な分野です。在学中の2年間で、複数の関連資格が取得可能です。それを武器に社会に羽ばたきましょう。皆さんも電気システム科で学びませんか？私たちがしっかりサポートします！

金属ものづくり科 指導員：金属ものづくり科では溶接や機械加工の様々な実習を通じて、ものづくりの楽しさや奥深さを実感しながら専門技術や技能の習得ができます。また、少人数制で一人一人きめ細かな指導が受けられ、初心者や女性の方でも安心して受講できます。ものづくりに興味のある方、新しい自分を発見し、目標に向かってチャレンジしましょう。

全日制 1	私立 英明高等学校	
----------	-----------	---

本校所在地	香川県高松市亀岡町1-10
サポート校(所在地)	
入学できる都道府県	香川県
服装・規定	服装・頭髪等 規程あり

学習コースや特徴
<p>【ワンステップコース】</p> <p>①文部科学大臣認定の不登校特例校</p> <p>②3年間で全日制普通科の卒業</p> <p>③学校の指定する科目において、ICT機器を用いた遠隔授業を受けることで、正規の授業を受けたことになる</p> <p>④義務教育の学習内容の学び直し</p> <p>⑤社会生活で役立つコミュニケーション能力を高める</p>

クラブ活動	イベント学校行事
原則、どのクラブ活動にも参加できます	本人やクラスの状況に合わせて、すべての学校行事に参加することが可能

募集要項			
募集人員	30名	選考方法	国語・英語・面接 (入試前に事前教育相談)
出願期間	C日程(専願) R4/1/14		

学校のおススメポイント
<p>さまざまなサポートにより、不登校だった生徒がクラスメイトとともに教室で学習できる機会を増やしていき、3年間で卒業を目指し、進学や就職といった社会的な自立を図る</p>

在校生の声

- ・ 小学校の頃から学校に行けてなかったけど、英明高校では毎日休まず通学しています。
- ・ 朝起きれなかったときはオンライン授業を受けながら通学することができます。
- ・ 気の合う友達もいてアットホームです。

卒業生の声


2021年度が1期生ですので、3年後を楽しみにしててください。

保護者からの言葉

これまでのことを考えると、通学できていることが不思議なくらいです。今までになく学校に通うことが楽しいみたいで嬉しく思います。

先生からの言葉

私たちのワンステップコースは、不登校で苦しんでいるお子様や保護者の方に少しでも手助けになればと思っています。不登校から少しでも脱出して社会的自立へのサポートができればと思っています。

全日制 全寮制 1	<h1>私立 吉備高原学園高等学校</h1>	
-----------------	------------------------	---

本校所在地	岡山県加賀郡吉備中央町上野2400
サポート校(所在地)	
入学できる都道府県	全都道府県
服装・規定	普通の学校生活(授業)では着用しません。制服は式典や校外研修などで着用します

学習コースや特徴
<p>本校は普通科の中で多彩な専門コースを展開しています。生徒自身の希望や能力・適性にあわせて、3つの系（ビジネス系・文系・理系）と10の専門コース（クラフトデザインコース・陶芸デザインコース・緑化システムコース・生活デザインコース・健康スポーツコース・福祉ボランティアコース・情報システムコース・インターナショナルコース・キャリアデザインコース・マンガアニメーションコース）の組み合わせから将来につながる学習ができます。令和2/度入学生よりマンガ・アニメーションコースが始まり、令和4/度入学生からは情報システムコースに『eスポーツ』をカリキュラムへ取り入れるなど新たな取り組みも行っています。その他のコースでも少人数教育による充実した教育環境を実現し、その道のプロも輩出しています。また、寮生活では6人部屋となり、各自のベッドとタンスが用意されており、掃除や洗濯など身の回りのことは自分で行います。学習室には各自の机も用意されているので、放課後は自分の好きな時間に学習に取り組めます。全校生徒が集まる食堂では、食事だけではなく、寮での行事も行われ季節に合わせた様々な寮行事が行われています。</p>

クラブ活動	イベント学校行事
演劇部・音楽部・茶道部・JRC部・書道部・新聞写真部・生活科学部・パソコンワープロ同好会・美術部・放送野外活動部・ダンス同好会・剣道部・古武道部・卓球部・バスケットボール部・バドミントン部・バレーボール部・硬式野球部・サッカー部・テニス部・陸上競技部	全員が生徒会の委員会に属して活動しています。学校や寮生活の中で実施される行事の多くは生徒自身が企画立案し、準備、実施、運営、進行のすべてを取り仕切ります。特に寮行事は/間を通して行われ、最後の退寮式は感動の涙で包まれます。

募集要項			
募集人員	全制・普通科100名		選考方法 県外生入試・1期入試 [面(本人及び保護者),作文,調査書] 2期~4期入試 [面接(本人及び保護者),作文,調査書,基礎的な学力試験(国語・数学・英語)]
出願期間	県外生入試 2021/12/15~2022/1/5 1期入試 [福山市・高松市会場] 1/5~2/2 2期入試 2/9~2/16 3期入試 3/3~3/9 4期入試 3/11~3/19		

学校のおススメポイント
<p>①習熟度授業…数学・英語について、習熟度授業を取り入れており、理解度や希望により、1学年4クラスを3段階のグループに編成し授業を行っています。</p> <p>②同袍ゼミ（自主養成講座）…寮では、全員が机に向かう「学習時間」があり、この時間を利用して、希望者を対象に夜間講座「同袍ゼミ」を行っています。各科目の基礎や大学入試対策、各種検定対策、就職対策など、更に彫刻など実技系の講座も開講されています。</p> <p>③高大連携…関連校である岡山理科大学・倉敷芸術科学大学と連携し、コースで学ぶ内容に関連した講義を受けています。コースへの学習意欲を高めることに役立っており、今後はさらに他の関連校とも連携関係を持つ予定です。</p>

在校生の声

初めは、24時間ずっと家族以外の人と一緒にいることに不安がありました。でもずっと一緒にいるからこそ、同室とも自然と仲良くなれたし、先生方も励ましてくださるので、だんだんと生活に馴染んでいくことができました。中学の頃は、あまり自分を表に出さなかったのですが、寮生活を通じて、自分の意見を他人に伝えることができるようになり、いい関係性を築くことができるようにもなりました。1日中一緒に暮らしているので、相談事もすぐできますし、勉強も宿直の先生に教えていただくことができます。寮では、生徒が主体になって行事を運営したり、身の回りのことも自分たちでしたりしているので、ここで寮生活を経験したことは、これから自分が生活していく上での大きな力になってくれると思っています。

卒業生の声

吉備高原学園を卒業して5年目、私は現在大学院で、先生を目指して日々勉強に励んでいます。私は小学校中学校と不登校になり、どこにも自分の居場所がないと感じていた時期がありました。そんな時期に地元の吉備の先輩から学校紹介を受け、吉備での寮生活や様々な状況の生徒を受け入れているというところに惹かれて、吉備へ進学することを決めました。学校にも通えない自分にとって、吉備に入るまでは頑張ること、何かを続けることは無理なことだと諦めていました。しかし、吉備での人との出会いの中で、高校時代を懸けて頑張りたいことができ、またそれを支えてくださる先生から熱意のこもった指導を受けながら仲間と一緒に切磋琢磨することができて、高校3年生では部活の大会で最高賞を取ることもできました。そんな宝物のような思い出を、いつか私が先生になって子どもたちと作りたい、そう思うようになり、今現在は大学院で教育について研究しています。大切な思い出、夢、尊敬する先生、かけがえのない仲間を与えてくれた吉備での日々や出会いには本当に感謝しています。（女子卒業生）

保護者からの言葉

小学校1年生の5月から不登校になった娘には、寮生活は無理だと思っていました。中学校は在籍してただけで、学力はついておらず、できないことだらけでした。それでも本人が変わりたい！と決めた道でしたので親としては応援しようと送り出すことにしました。入学してからは、計画的に物事を決め、遂行する力を身につけ、第一志望の学校へ合格する夢も叶えました。全寮制の密接な関わりから、友だちを作り、共に勉学に励み、楽しい学校生活を送ることができたのは貴重な体験でした。私にとっては、帰省の日に学校のことを沢山話してくれる娘に会えたことが、一番嬉しく楽しい思い出となっています。（女子生徒の保護者）

先生からの言葉

「今までの自分を変えてみたい」、「今までの自分を更に成長させたい」、そんな皆さん一人一人をしっかりサポートし応援する学校です。本校の特色のひとつである寮生活では、寝食を共にする仲間と共に、ここでしか得られない特別な時間が待っています。また、選べるコースの授業では自分の興味にあわせてやりたいことが見つかります。吉備高原学園高等学校には、皆さんの高校生活が充実したものになるためのコンテンツがたくさんあります。

定時制を卒業して、叶えた私の夢

富田 麻維（とみだ まい）

定時制高校卒業、香川短期大学卒業、現在は、保育士として勤務1年目

私は、現在、県内の公立保育所で保育士として働いています。私が定時制高校に進学したのは、中学3年生の頃に担任の先生から勧められたことがきっかけです。私は小学生の頃、いじめや両親の離婚から不登校になり、中学生になっても教室に入ることができず、別室登校をしていました。そのため進学は諦めていましたが、定時制高校であれば、働きながら通えることや、1日4限授業というシステムを知り頑張ってみようと思いました。

定時制高校に入学してから、アルバイトも始めました。学校では、過去のトラウマからクラスメイトと関われずにいたある日、席が近かった子から声をかけられ一緒に下校するようになりました。そして授業のことやアルバイトの悩みなどを話すうちにだんだんと仲良くなり、いつの間にか他のクラスメイトとも話せるようになっていました。また、職員室が温かな雰囲気先生とも話しやすく、授業で分からないところを聞いたり、悩み相談をしたりと毎日楽しく通うことができました。さらに、バドミントン部に入部し定通総体に出場したり、作文の発表会に参加したりと様々な経験をすることができました。

定時制高校に通って感じたことは、それぞれの過去や心に抱えているものは違うけれど、みんな自分なりに一生懸命頑張っているということです。このように感じたとき、「自分だけが大変」という考えではなく、「みんなも私も頑張っている」と自分を少し認めることができました。それからは、学業にもアルバイトにも友達と切磋琢磨し合い、卒業までやり遂げることができました。

定時制高校卒業後は、短大の保育・教育系の学科に進学しました。幼少期からピアノを習っていたこと、子どもが好きという理由から、それらを活かせる職業として保育士を目指しました。在学中は、保育助手のパートと学業の両立に励みました。両立は大変でしたが、高校時代に培ってきた忍耐力と精神力で続けることができ、授業や実習だけでは経験できないことをたくさん学ぶことができました。

職場でお世話をしている子ども達はとてもかわいいのですが、初めてのことばかりで毎日忙しく大変だと感じることも多くあります。しかし、これまで経験してきたことや頑張ってきたことに自信を持って、私が目指す「子どもと保護者に寄り添った保育者」になれるよう自分のペースで日々努力したいと思っています。



定時制を卒業して、現在の僕が在る

古子 貴将（ふるこ たかまさ）

定時制高校卒業、四国学院大学文学部卒業、現在は、小学校教諭として勤務9年目

僕は、中学校卒業後、工業高校に入学しましたが、半年で退学しました。主に非行が原因でしたが、学校の先生とうまく関係性を築けなかったからだと思います。その後、仕事を転々としながら、2年間程過ごしました。何をしてもあまり続かず、特にしたいこともなく、日々を送っていました。ただただ、仲間とともに非行を繰り返す毎日。しかし、そんな日々も長くは続きませんでした。多くの仲間が警察のお世話になったこと、そして年齢も重ねたことで、自分の将来について嫌でも考えなくてはならなくなったからです。

「高校に行こう」そう思って受けてみた全日制高校は、全敗。観音寺第一高校の定時制課程のみに合格できました。僕は、18歳で高校1年生として再出発することになったのです。入学当初は、また事件を起こしてしまい退学するかもしれない不安でいっぱいでした。当時の僕は、まだまだ自分に甘く、仲間と行動を共にする非行癖が抜けていなかったからです。適当に学校に行き、仕事をし、仲間と遊ぶという毎日。非行が原因で何度もピンチにさらされました。そうして、迎えた定時制高校4年生。嫌でも卒業後のことを考えなくてはならなくなった頃のことです。担任だった岡田先生*が僕に「あんた先生になってみたら？」と言うのです。「この先生は何を言っているのか？」と目が点になりました。だけど、なぜか挑戦してみようと思いました。それから興味本位で始まった教師への第一歩がスタートしました。慣れない勉強や受験に逃げ出しそうになりました。

しかし、投げ出しがちだった僕を支えてくれたのは、定時制高校のそれまでの日々でした。関わってくれた多くの先生方がいつのまにか、それらを乗り切る自信を僕自身につけてくれていたのです。定時制にも、部活動があります。入部した陸上部で経験した定通制の全国大会。そのとき、先生方や仲間たちがかけてくれた言葉や、全国大会でお祝いとして御馳走してくれた焼肉は今でも鮮明に覚えています。大学入試に向けては、多くの先生方が僕を信じ励ましてくれました。誰一人「君には無理だ」という人はいませんでした。岡田先生は、英語だけでなく面接や勉強の仕方の指導を、別の先生はファミリーレストランで遅くまで面接練習をしてくれました。期待されることの喜びと、僕なんかのために自分の時間を割いてくれる優しさを知りました。その頃の僕には、もう後にひけない理由がいくつも定時制の日々を通して培われていたのです。そうして大学に合格。教育学を学び、教員採用試験にも合格しました。現在は、香川県内の小学校に勤め今年で9年目になります。思い返してみると、小学校や中学校の先生方も、その時々には様々なことを自分自身に教え、考えさせてくれていたことが再出発した僕を支えてくれていることに気づきました。次は、僕がその役目を少しでも担えるように、子ども達のために、自分にできることを頑張っていきたいと思っています。

ちょっと勇気を出して、定時制高校に入学して、本当に良かったです。「いつになっても、どんなときにも挑戦することの大切さ」を今も忘れないように心がけています。小さな一歩から未来が変わったように思います。

*岡田先生とは、「子どもを信じて待つ大切さ～子どもの良き理解者であり続けるために～」を執筆された岡田倫代先生のことです。

常に感じた母からの重圧 高認を受けた私の「不登校その後」

大崎 梨加（仮名）

中1で不登校、高認取得後、22歳で専門学校入学、25歳卒業。現在27歳保育士

文科省が年2回実施している「高等学校卒業程度認定試験」（以下、高認）。合格すると、高校卒業と同程度の学力があると認められる。高認経験者に当時のようすやその後についてうかがった。

——現在のご職業からお聞かせください。

保育士として勤務しています。現在はコロナウイルスの影響もあって、在宅勤務もこなしつつという毎日です。

——不登校のいきさつは？

私が学校へ行かなくなったのは中学1年生の4月なので、中学は2週間くらいしか通っていません。生徒の数が急に増えたとか、自分の名前をからかわれたとか、勉強が難しいとか、今になってみれば理由はいろいろと思いつきますが、当時は「とにかく行きたくない」という気持ちでいっぱいでした。

——高認を取ろうと思ったきっかけは？

高認を受験したのは19歳のとき、一番の理由は母からのプレッシャーですね。不登校になったあとは3年くらい家にひきこもっていたんですけど、それを心配した母親がフリースクールを見つけてきてくれて。そこですごした時間は楽しかったんですけど、母からは「せめて高校は出てほしい。それが無理なら高認を取ってほしい」とよく言われていて。当時は、大学へ行きたいとかこの仕事に就きたいとか考えたことはなかったんですけど、「いつまでもここに居るわけにはいかない」と思っていたし、何より中卒のままでいることが怖かったです。もちろん、高認に受かっただけでは最終学歴は中卒のままということは知っていましたが、最低限の安心がほしかったんです。なので、フリースクールは高校を卒業する18歳で辞めると決めてから高認の勉強を始めて、2年かけて合格することができました。

——高認の勉強を始めると不安は？

いろいろありましたが、まずは勉強そのものですね。フリースクールでも勉強らしい勉強なんてほとんどしてこなかったし、なかでも数字は大の苦手でした（笑）。

それに「高認はそんなに難しくないよ」という周囲の声もプレッシャーになりましたね。励ましのアドバイスということはわかるんだけど、かんたんと言われれば言われるほど「そんな試験に落ちてしまったらどうしよう」って不安になるんです。勉強への苦手意識があったぶん「やると決めたからには100点を取らなきゃ」っていう強迫観念みたいなものもなかなかぬぐえませんでした。

——そうしたなか、どうやって高認の勉強を始めたのでしょうか？

母が買ってきてくれた参考書をとにかく読みこむことにしました。高認試験は年に2回あるんですけど、まずは国語と現代社会だけ受験しようと決めました。なんでこの2科目に絞ったのかというと、参考書を読んで「これならいけそうだ」と思ったからです（笑）。

最初の受検で2科目に絞ったり、それに合格した後はフリースクールのスタッフに教えてもらったり、進学校に通っている妹に教えてもらったりしながら勉強を続けました。

あくまで私の場合ですけど、「1回に受験で全科目に合格しよう」という目標を立てなかったことがよかったのだと思います。2科目に絞ったことで勉強の範囲も狭まりますし、集中力も持続します。何より「2科目に合格した」という事実が自信につながりました。

もし、最初から全科目に合格するというモチベーションで始め、それで何科目か不合格になってしまったとしたら、ますます自信をなくしてしまったかもしれませんし、高認も途中であきらめてしまったかもしれません。ただ、母としては、全教科を受けてサッと合格してほしかったみたいなんですけ

ど。

——お母様の影響は大きかったんですね。

そうですね。「中卒のままだと怖い」というのも、私がそう思っているというより、家庭内で視線を気にしてそう感じていたというほうが正しいかなって。母も妹も学歴にこだわるタイプだったので、世間からどう思われるかということより、中卒のまま家族にどう思われるかということの方が私にとって重要だったんです。高校へ行こうと思って学校見学にも何度か行きましたが、ここに3年間通うというイメージがどうしても持てなくてあきらめました。母からの期待、家での肩身の狭さ、そういう状況を少しでも変えられるかなってという思いもあり、高認を受けることにしたんです。

母はいつも「不登校したことをリカバリーしてほしい」と願っていました。でも、私は自分の過去をそんなふう考えたことはありません。その点で母とはいまだに折り合いがつかない部分もありますが、結果的には高認を取ることでできることも増えましたから、高認を進めてくれた母には感謝しています。

——高認合格後は？

大学へ行きたいとか、明確な目標のために高認を受けたわけではないので、1年ぐらいリターをしていました。

親戚が海外に住んでいるツテもあったので留学もしましたが、家庭の事情もあって21歳のときに日本に戻りました。そのときには「保育士になりたい」という目標があったので、夜間の専門学校を探し、昼間は働きながら専門学校に通いました。日本に帰ってきたのが5月ということもあってすぐに入学できなかったんですけど、書類の準備だけで翌春にできたという意味では、高認をとっておいて損はなかったなと思いましたね。

——なぜ保育士の道を？

これも母の影響なんですけど、「手に職をつけろ」とずっと言われていたんです。それに、不登校をしていたときに知り合いの子どものベビーシッターをやっていた経験もあって仕事として興味があったし、「今からでも挑戦できるかも」と思ったのがきっかけです。

とはいえ、専門学校もいろいろきつかったです。働きながら3年間通うということで体力的にもたいへんだったし、なんだかんだ言っても学校なので、雰囲気も苦手でした。それに、女性だけのクラスということで人間関係も複雑だし、いじめもありました。いじめる側になるということも初めて経験したし、私がいじめの対象になることもありました。

ただ、そのとき私は22歳と、現役で入ってきたほかの生徒より少し年上だったというのが救いになったなと思います。人間関係のいざこざがあっても「私は保育士の資格を取りに来てるだけだから」と、なかば強制的に割り切って物事を考えるだけの余裕ができていたからです。10代のときに同じことができたかと言えば自信がないですし、もしかしたら続かなかったかもしれません。

表現が適切ではないかもしれないけど、高認は私にとって「ショートカット」だったなと思うんです。高校に3年間通うことで青春したり、勉強だってきちんと学べると思うけど、まだよく見えていない将来のために無理して「高校に通わなくちゃ」って思わなくてもいいんじゃないかって。大学や専門学校いくか、働くか。15歳になったから、18歳になったからってすぐに決める必要はないし、とりあえず高認に受かったあとで、今後どうするかを考えてみるというのも一つの手段だと思うんです。そういう見方で高認というものを検討してもいいんじゃないかなって。

私のように、一気に合格しようと思わず、一冊の参考書をひたすら解くというのも一つのやり方だと思います。最初のうちは「100点を取らなきゃ」とさんざん気負っていたのであんまり軽々しく言えないんですけど「クイズを受けに行く」というぐらいの気構えで臨むということも大事だなって思います。

(聞き手・小熊広宣)

不登校新聞531号より転載

ADHDの子どもを育てて～通信制高校を経て自立までの奮闘記～

母：松本 裕子（仮名）

子の略歴（通信制高校卒業、現在ガソリンスタンド勤務1年目）

小学校は通常学級に在籍しましたが、2年生の時、担任から「病院に行って下さい。これ以上責任もてません」と言われました。病院を受診し、ADHDと診断されてお薬を始め、通級特別支援を受けました。友だちと上手く付き合えないので、ケンカになりトラブル多発。苦情電話殺到。クラスでは孤立して一人ぼっちでした。意味不明な行動を上手く伝えられないため理解されず、問題行動として扱われました。授業が上手く受けられない（座れない、指示が分からない、板書が苦手等）ものの、漢字は好きで、計算も早く、運動もそこそこでした。

中学生のとき、これでは上手くいかないと考えて、私は特別支援クラスを希望しました。でも息子は違いました。友だちと違うのが嫌だったのです。本人の意思が育ってきたのでしょうか。しかし、授業は上手く受けられないというより、ほぼ受けられなかったと思います。中3の進路指導では養護学校（特別支援学校の高等部）も勧められましたが、実際主治医に相談すると、知的に養護学校入学はできず、療育手帳も取れないと言われました。担任から校区外の高校や県外の全寮制高校も考えるように言われましたが、本人は知らないところに行くことを嫌がり受験しませんでした。本人の意思で受験したのは私立の全日制高校一校で、不合格になってから急いで他の全日制高校を探すも、応募できる場所はなくなっていました。

通信制高校の話をする、みんなが行かないところは嫌、校舎がない、制服がないのは嫌と理由を付け、受け付けませんでした。ですが、中学の担任の先生に勧められ説明会に、半ば強引に参加させました。私もよく理解していなかったのですが、その後面接していただき、何とその日に進路が決まりました。私立の全日制高校受験を頑張ったことや学校生活が上手くいかなかったことなど、息子に寄り添うように聞いて頂き、息子の困り感を理解して貰えたように感じました。

因みに私立全日制高校に相談に行ったら、座れなくてはダメと言われ、定時制高校では不登校であっても学習意欲がある人ならと言われました。

子どもの特性に理解があり、受け入れて貰え、制服もあり、通学もできる（平日毎日スクーリングがあり、本校（県外）に行かなくてよい）上、嬉しいことに学割もきく。帰り道、息子は「行くところできた」と笑顔で呟いていました。学校でも友だちに言いふらしたようです。言わなかったけど進路に悩んでいたんだ、考えていたんだ、困りごとの相談の仕方が分からなかったんだなあと思い、無理にでも行動してよかったと思いました。失敗も多いですが、何でもやってみないとわからないものですね。

先日卒業アルバムが届きました。息子が机に向かう姿がありました。一瞬かも知れませんが頭をポリポリかきながら、頑張る姿があり嬉しく思いました。小学校中学校のように大勢の人はおらず、必要な時間に通り、分からないことを尋ねやすい先生が近くにいることは、息子にとって好都合な環境だったと思います。

実際のところ、毎日行かなくても良いとなると、今までのように学校へは行かなくなりました。（息子は今迄、熱があっても嫌なことがあっても、学校や部活に行かないと言う選択肢をもっていませんでした。）高校では、友だちが行くときに出席していました。息子が通った通信制高校は自

分で履修を選択しなければなりません。自分がどの授業に出なければならないか、いつまでにレポートを出すのか、自分で計算しなくてなりません。息子はこれができました！ここは私が発見した息子の素敵なおとこです。もちろん、すべて上手く行くはずはなく、先生方に随分声を掛けて頂いたようです。テストを受けることも大変そうでした。（どこを写したらいいかと言うレベルで分からなくて困っていたのだと推測します。）学校の先生方は学校に来たこと、テストを受けに来たことを認めてくれて、なんとか3年間で卒業することができました。甘い！と思う人もいるかも知れませんが、父親も「卒業できたらええんちゃう！」という家庭だったから、最後までできたのではないかと思います。きっとこの子にはこういった方法が合っていたのでしょう。

最後にアルバイトについてですが、他の学校と違い推奨されていました。通信は時間があり（登校の時間も全日制の子とはずれています）、生活習慣を整える意味合いもあるからです。最初の三者懇談の席で、先生から「6月迄に決めて来て」と期限付きで言われ、真面目な息子は友だちに相談し、自分で決めました。一つ目はうどん屋。同じ場所で同じ作業が苦痛で辞めました。二つ目はコンビニ。店長さんと上手くいかなかったのか、辞めました。三つ目はガソリンスタンド。「この人達は皆仲がいい」と言っていました。土日のバイトでしたが、卒業迄の1年4ヵ月続きました。

また、運転免許をとることができました。バイクに乗る人がいてバイクの免許を取ると言い出したときは心配しました（息子は不注意なところがあるので、運転は無理だと思っていました）が、自動車を運転するのにいい勉強や慣れに繋がって、結果的によかったです。実技試験は、いつもはできるのに緊張のあまり失敗しましたが、2回目に合格。筆記試験は「受からんやろう」と思っていたのですが3回目には合格してしまいました。

就職先を考えると、うどん屋の経験から同じ作業をしなければならない工場仕事は向かないことが親子での共通認識でした。そして、相変わらず「自分で決めるけん！」と友だちに相談して、三つ目のバイト先であるガソリンスタンドに自ら心を決めたようです。

紆余曲折ありましたが、私は息子が18歳という人生の節目に、卒業・就職できて大満足です。勉強するようにはならなかったし、大学にも行きませんでした。今のところこの子にとって適した環境なのかなと思います。通信の子で大学へ行く子、就職する子様々で、卒業式は皆さん立派でした。勿論うちの子も。卒業式は、小学校、中学校とも進学を喜び、別れを惜しむ友人もおらず、クラスで一人寂しく過ごしていたけど、今回は楽しそうでした。

まだまだ心配は尽きませんが、今は前程シンドくないです。



編集後記

たくさんの方々のご協力で、ハイスクールプロジェクトが完成いたしました。みなさま、ありがとうございました。

やってみようと昨冬に思いついてから、ぜひ一緒にと盛り上げて下さった「ペアレントメンターかがわ」の秋山輝美さん、高松市のフリースペース「まなびやもも」の伊澤絵理子さん、スクールソーシャルワーカーの藤澤茜さん、高校教員の吉野孝子さん、ボランティアをして下さった三木町民のMさんとSさん、「子どもと大人の学びを考える任意団体 子どもへのまなざし」の伊藤明子さん、香川大学の徳田雅明先生や宮武伸行先生など、強力なサポーターに支えられたのは、大変幸運なことでした。

また、転載の許可を下さった「不登校新聞」編集部の方、快く原稿を書いてくださった岡田倫代先生と体験談を寄せて下さった元教え子の富田麻維さんと古子貴将さん、短期間に原稿を書いてくださった高校やサポート校の先生方、表紙のイラストを描いてくださった通信制高校3年生の田中彩楓さん、本当にありがとうございました。

たくさんの方の想いがつまったハイスクールプロジェクトが、一人でも必要な方々の手に届くことを願っています。（鈴木裕美）

ハイスクールプロジェクト 多様な進路を探ろう！～定時制・通信制編～
2021年10月初版（1500部）

【ハイスクールプロジェクトに関する問い合わせ先】

〒761-0793

香川県木田郡三木町池戸1750-1 香川大学医学部衛生学

鈴木裕美（すずき ひろみ）

Tel: 087-891-2465（平日9時～16時）

Email: suzuki.hiromi@kagawa-u.ac.jp

NPO法人親の育ちサポートかがわ

Email: oyasapo_kagawa@yahoo.co.jp



このパンフレットは、三木町補助事業「健やかあすなろプロジェクト」により香川大学が作成しました。